

関東信越厚生局長 殿

東京大学医学部附属病院長 門脇

東京大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成23年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	172.8 人
--------	---------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	584人	408.6人	992.6人	看護補助者	66人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	16人	17.8人	33.8人	理学療法士	16人	臨床検査技師	126人
薬 剤 師	87人	7.5人	94.5人	作業療法士	7人	衛生検査技師	1人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	8人	その他	1人
助 産 師	42人	0人	42.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	8人
看 護 師	1152人	11.6人	1163.6人	臨床工学技士	31人	医療社会事業従事者	4人
准 看 護 師	2人	0.9人	2.9人	栄 養 士	1人	その他の技術員	35人
歯科衛生士	3人	0人	3.0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	395人
管理栄養士	9人	1.8人	10.8人	診療放射線技師	69人	そ の 他 の 職 員	327人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	1,037.6人	11.7人	1,049.3人
1日当たり平均外来患者数	3,003.8人	73.7人	3,077.6人
1日当たり平均調剤数	2574.8 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	2人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	64人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	44人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	5人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助	135人
実物大臓器立体モデルによる手術支援	43人
前眼部三次元画像解析	80人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹膜播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。	28人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	「進行・再発がん患者を対象としたHSP105由来ペプチドパルス樹状細胞ワクチン治療	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 切除不能又は術後再発の進行がん(大腸がん・膵がん・胆道がん・食道がん・咽頭がん・乳がん・尿路上皮がん等)で、かつ抗がん剤治療および放射線治療が無効あるいはその適応がない患者で、腫瘍組織にheat shock protein (HSP) 105の発現が認められHLA-A2またはHLA-A24陽性症例に対して、末梢血単球由来の自己樹状細胞(DC)にHSP105由来ペプチドを加えてがんワクチンを調製する。2週間間隔で4回皮下に投与し、その安全性および有効性を検討する。			
医療技術名	重症心不全小児疾患に対する小児用補助人工心臓EXP-01の多施設共同臨床試験	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 改正臓器移植法施行によりわが国においても小児における心臓移植が可能となったが、小児に使用できる心臓移植への橋渡しを可能とする補助人工心臓(VAD)がわが国では未承認である。この状態を解決すべく、厚労省の「医療ニーズの高い医療器機の早期導入に関する検討会」を経て、早期導入機種に選定された、世界で最多の使用実績をもつ小児用VADであるBerlin Heart EXCORを国内に導入するために臨床試験を計画した。医師主導治験として、小児心臓移植実施可能である東京大学、大阪大学、国立循環器病研究センターの3施設を選定した。 東京大学が治験統括施設として「治験の計画に関する研究」を実施して、PMDAとの治験相談を経た後に治験プロトコルを確定した。 2012年2月23日にPMDAに多施設共同治験として治験届が受理され、年度末に治験開始可能となる状況である。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	217人	・膿疱性乾癬	20人
・多発性硬化症	72人	・広範脊柱管狭窄症	169人
・重症筋無力症	148人	・原発性胆汁性肝硬変	256人
・全身性エリテマトーデス	623人	・重症急性膵炎	10人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	105人
・再生不良性貧血	62人	・混合性結合組織病	66人
・サルコイドーシス	130人	・原発性免疫不全症候群	11人
・筋萎縮性側索硬化症	0人	・特発性間質性肺炎	5人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	540人	・網膜色素変性症	8人
・特発性血小板減少性紫斑病	92人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	3人	・肺動脈性肺高血圧症	181人
・潰瘍性大腸炎	331人	・神経線維腫症	41人
・大動脈炎症候群	66人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	3人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	8人
・天疱瘡	21人	・慢性血栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	119人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	91人	・副腎白質ジストロフィー	15人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	277人
・悪性関節リウマチ	23人	・脊髄性筋萎縮症	5人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	211人	・球脊髄性筋萎縮症	41人
・アミロイドーシス	8人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	19人
・後縦靭帯骨化症	135人	・肥大型心筋症	21人
・ハンチントン病	8人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	1人	・ミトコンドリア病	15人
・ウェゲナー肉芽腫症	9人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	92人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	5人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	38人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	114人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・J109 広範囲顎骨支持型装置埋込手術	・
・D004-2の1 悪性腫瘍遺伝子検査	・
・K047-3超音波骨折治療法(一連につき) 骨折観血的手術が行われた場合	・
・K939画像等手術支援加算 1ナビゲーションによるもの (K080の1関節形成術(1肩、股、膝)、K081の1人工骨頭挿入術(1肩、股)、K082の1人工関節置換術(1肩、股、膝))	・
・K939画像等手術支援加算 1ナビゲーションによるもの (K695肝切除術、K695-2腹腔鏡下肝切除術、K697-4移植用部分肝採取術(生体))	・
・K721-4早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	8~10回/月 程度
部 検 の 状 況	部検症例数 64 例 / 364 部検率 17.58%

(様式第11)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
マルファン症候群の日本人に適した診断基準と治療指針の作成	平田恭信	循環器内科 先端臨床医学開発講座	1000万円	補委	厚生労働省
代表的肺難治性疾患の発症関連遺伝子解明と創薬への応用	長瀬隆英	呼吸器内科	940万円	補委	日本学術振興会
肝炎ウイルスと代謝・免疫系の相互作用に関する包括的研究	小池和彦	消化器内科	2230万円	補委	厚生労働省
主にアジアに蔓延するウイルス性肝疾患の制御に資する為の日米合作的肝炎ウイルス基礎研究	小池和彦	消化器内科	470万円	補委	厚生労働省
肝炎ウイルスによる発がん機構の解明に関する研究	小池和彦	消化器内科	280万円	補委	厚生労働省
B型肝炎ウイルス感染の病態別における宿主因子等について、網羅的な遺伝子解析を用い、新規診断法及び治療法の開発を行う研究	小池和彦	消化器内科	100万円	補委	厚生労働省
肝硬変発症・発癌リスク予測システムに基づいた慢性C型肝炎に対する個別化医療の導入及びゲノム創薬への取り組み	小池和彦	消化器内科	200万円	補委	厚生労働省
初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究	小池和彦	消化器内科	15万円	補委	厚生労働省
ウイルス・プロテアーゼを利用した自然免疫活性化によるC型肝炎自殺療法の開発	小池和彦	消化器内科	210万円	補委	日本学術振興会
消化管分化の観点に立った胃癌の発症・進展・組織型決定の分子基盤の解明	山道信義	消化器内科	234万円	補委	文部科学省
ヒト肺癌増殖制御因子のRNAi/miRNA機能スクリーニング法による探索	泉谷昌志	消化器内科	208万円	補委	文部科学省
肝がん治療の分子標的としてのヒストンメチル化制御機構	椎名秀一朗	消化器内科	170万円	補委	文部科学省
膵臓癌腫瘍の病態予測における包括的ゲノム解析の応用	多田稔	消化器内科	170万円	補委	文部科学省
膵がん細胞の悪性度を制御するヒストン修飾経路の同定と解析	立石敬介	消化器内科	170万円	補委	文部科学省
持続炎症に伴発するmiRNA機能減弱が原因となる消化器癌の発癌機構と制御法の探索	大塚基之	消化器内科	480万円	補委	文部科学省
膵発癌マウスを用いた膵癌の微小環境を標的とした新規治療法	伊佐山浩通	消化器内科	100万円	補委	文部科学省
RNP構成因子DDX20によるB型肝炎関連肝癌の抑制機構の解析	五藤忠	消化器内科	170万円	補委	文部科学省
上皮細胞と樹状細胞による腸管免疫と宿主恒常性の制御機構の解明	平田喜裕	消化器内科	170万円	補委	文部科学省
肝特異microRNAの機能解析とその発現制御による効率的肝細胞分化誘導法の開発	近藤祐嗣	消化器内科	130万円	補委	文部科学省
膵発癌におけるPI3Kシグナル活性化の役割基盤技術開発	笹平直樹	消化器内科	100万円	補委	文部科学省
後天的ゲノム修飾と疾患とを関連づける基盤技術開発	立石敬介	消化器内科	550万円	補委	新エネルギー・産業技術総合開発機構
肝内胆管癌マウスモデルを用いた起源細胞及び慢性肝障害との関連についての検討	浅岡良成	消化器内科	100万円	補委	文部科学省
胃癌発生メカニズムの解析を可能にする胃粘膜特異的な遺伝子変異導入マウスの作成	渡部宏嗣	消化器内科	130万円	補委	文部科学省
マウスモデルを用いた膵癌に対するmTORとMAPKを標的とした治療法の検討	毛利大	消化器内科	140万円	補委	文部科学省
線維芽細胞増殖因子23によるミネラル代謝調節機構の解明	福本誠二	腎臓・内分泌内科	468万円	補委	文部科学省
ホルモン受容機構異常に関する調査研究	福本誠二	腎臓・内分泌内科	170万円	補委	厚生労働省
糖尿病におけるプロレインの尿細管再吸収と組織レニン・アンジオテンシン系の検討	藤乗嗣泰	腎臓・内分泌内科	195万円	補委	文部科学省
近位尿細管アシドーシスに対する新規薬物療法の開発	関常司	腎臓・内分泌内科	117万円	補委	文部科学省

片頭痛発症における脳内pH調整機構の意義	山田 秀臣	腎臓・内分泌内科	1326万円	補委	文部科学省
ヒト尿細管に特異的なアンジオテンシンIIによるNa輸送活性化機序と生理的意義	堀田 晶子	腎臓・内分泌内科	273万円	補委	文部科学省
Gタンパク質共役受容体の機能選択的活性化と疾患・制御	槇田紀子	腎臓・内分泌内科	1170万円	補委	文部科学省
代謝制御機構の統合的理解とその破綻	門脇孝	糖尿病・代謝内科	2808万円	補委	文部科学省
糖尿病の新規バイオマーカーに基づく診断法と蛋白質構造解析に立脚した新規治療法の開発	門脇孝	糖尿病・代謝内科	3900万円	補委	厚生労働省
メタボリック・シンドローム関連疾患における個別化医療の実現	門脇孝	糖尿病・代謝内科	1794万円	補委	文部科学省
メタボリックシンドローム・糖尿病の鍵分子アディポネクチン受容体AdipoR/AMPK/ACCタンパク群の構造解析とそれに基づく機能解明及び治療法開発	門脇孝	糖尿病・代謝内科	2260万円	補委	文部科学省
iPS細胞を用いた造血器腫瘍の病態解明と治療法の探索	黒川峰夫	血液・腫瘍内科	5328万円	補委	科学技術振興機構
二種類の新規制御性T細胞サブセットの機能解析	藤尾 圭志	アレルギー・リウマチ内科	156万円	補委	日本学術振興会
CD4陽性CD25陰性LAG3陽性制御性T細胞による自己反応性B細胞制御機構解明	岡村 僚久	アレルギー・リウマチ内科	273万円	補委	日本学術振興会
抗原特異的T細胞制御による関節リウマチ治療薬の開発	庄田 宏文	アレルギー・リウマチ内科	104万円	補委	日本学術振興会
自己免疫寛容破綻のメカニズムの解明ー拡張抗原提示によるT細胞活性化機構の解明ー	澁谷 美穂子	アレルギー・リウマチ内科	182万円	補委	日本学術振興会
B細胞抗体産生を抑制するCD4陽性CD25陰性LAG3陽性制御性T細胞の解析	藤尾 圭志	アレルギー・リウマチ内科	100万円	補委	アステラス病態代謝研究会
マウスモデルを用いた抗RNP抗体産生機序の解明	川畑 仁人	アレルギー・リウマチ内科	140万円	補委	厚生労働省
認知症患者のQOLを反映するバイオマーカーの探索的研究	秋下 雅弘	老年病科	90万円	補委	文部科学省
アンドロゲンによる老年疾患抑制機構の解明:細胞老化から虚弱化まで	秋下 雅弘	老年病科	370万円	補委	文部科学省
高齢者に対する適切な医療提供に関する研究	秋下 雅弘	老年病科	1538万円	補委	厚生労働省
次世代シーケンサーによる老年病の新規ホルモン作用標的の解明と抗加齢医学への応用	井上 聡	老年病科	1560万円	補委	文部科学省
新たな脂肪細胞機能制御分子としての脂肪細胞内eNOSの役割の解明	江頭 正人	老年病科	90万円	補委	文部科学省
細胞老化から見た血管石灰化における長寿遺伝子Sir2の役割の解明	飯島 勝矢	老年病科	90万円	補委	文部科学省
内分泌因子によるユビキチン化経路解明に基づく増殖性前立腺疾患治療分子標的の同定	浦野 友彦	老年病科	80万円	補委	文部科学省
TRIMファミリーによる基質蛋白修飾を介した癌と感染症での発症制御システムの解明	浦野 友彦	老年病科	280万円	補委	文部科学省
介護ストレス症候群の治療・介入によるバイオマーカーの変化の検討	亀山 祐美	老年病科	190万円	補委	文部科学省
エストロゲン受容体の蛋白質脱アセチル化を介した新規核外作用の解明と治療への応用	東 浩太郎	老年病科	100万円	補委	文部科学省
ホルモン依存性の性差を生み出すエストロゲン受容体核内・核外作用機構の総合的解明	東 浩太郎	老年病科	430万円	補委	文部科学省
アルツハイマー型認知症の病因としての血管老化および抑制機構解明	大田 秀隆	老年病科	170万円	補委	文部科学省
前立腺癌におけるアンドロゲン受容体により制御されるncRNAの同定とその機能解析	高山 賢一	老年病科	180万円	補委	文部科学省
食行動異常を呈する疾患の多面的評価法ならびに効果的治療法の開発	吉内一浩	心療内科	150万円	補委	国立精神・神経医療研究センター



心療内科医を対象とした精神腫瘍学に関する教育プログラムの開発	吉内一浩	心療内科	70万円	補委	厚生労働省
治療の初期段階から精神症状緩和導入を推進するための研究	吉内一浩	心療内科	80万円	補委	厚生労働省
携帯情報端末を用いた摂食障害治療システムの開発	吉内一浩	心療内科	143万円	補委	日本学術振興会
がんの再発・転移を治療する多機能な分子設計抗体の実用化(最先端研究開発支援プログラム)	瀬戸泰之	胃食道外科	700万円	補委	内閣府
光機能性プローブによるin vivo 微小がん検出プロジェクト(JST 研究加速課題)	瀬戸泰之	胃食道外科	1300万円	補委	科学技術振興機構
分子生物学的解析に基づくプラズマ誘起細胞増殖・腫瘍細胞死誘起メカニズムの体系化(科学研究費 新学術領域)	清水伸幸	胃食道外科 (地域連携型高度医療人養成推進センター)	1612万円	補委	文部科学省
医療用プラズマ装置等に関する国際標準化ファイジビリティスタディ	瀬戸泰之	胃食道外科	88万円	補委	経済産業省
胃がんバイオマーカーとしての血清TFF3の起源検討(科学研究費 基盤研究(C))	野村幸世	胃食道外科	482万円	補委	日本学術振興会
次世代型血管新生療法の開発を目的とした側副血行路発達メカニズムの分子病理学的検討	宮田哲郎	血管外科	350万円	補委	日本学術振興会
人工細胞膜表面を有する新規小口径人工血管の開発	岡本宏之	血管外科	80万円	補委	日本学術振興会
絹フィブロイン被覆人工血管の開発	重松邦広	血管外科	110万円	補委	日本学術振興会
動脈瘤壁をターゲットとした新規ドラッグデリバリーシステムの基礎検討	保科克行	血管外科	160万円	補委	日本学術振興会
大腸癌におけるPI3K経路の解析と新規分子標的治療薬の検討	須並英二	大腸肛門外科	80万円	補委	日本学術振興会
胃癌腹膜播種に対するシスプラチン担持ヒアルロン酸ゲルによる腹腔内化学療法の開発	山口博紀	大腸肛門外科	140万円	補委	日本学術振興会
初発肝細胞癌に対する肝切除とラジオ波焼灼療法の有効性に関する多施設共同研究	國土 典宏	肝胆膵外科	2450万円	補委	厚生労働省
ゲムワイド関連解析を用いた革新的な肝移植後肝炎ウイルス再感染予防・治療法の確立	代表者 前原 喜彦 國土 典宏	消化器・総合外科 肝胆膵外科	30万円	補委	厚生労働省
医療機関におけるがん診療の質を評価する指標の開発とその計測システムの確立に関する研究	代表者 祖父江 友孝 國土 典宏	がん情報・統計部 肝胆膵外科	50万円	補委	厚生労働省
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	代表者 坪内 博仁 國土 典宏	消化器疾患・生活習慣病学 肝胆膵外科	200万円	補委	厚生労働省
バイオマーカーを用いた肝細胞癌の新規画像診断システムの構築と治療への応用的展開	國土 典宏	肝胆膵外科	840万円	補委	厚生労働省
創薬化を目指したglypican-3由来がんペプチドワクチン療法のエビデンス創出のための臨床試験	代表者 中面哲也 國土 典宏	臨床開発センター 肝胆膵外科	50万円	補委	厚生労働省
血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する肝移植のための組織構築	代表者 兼松隆之 國土 典宏	移植・消化器外科 肝胆膵外科	100万円	補委	厚生労働省
急性大動脈症候群に対する予防治療の指針作成に向けた基礎研究	宮田哲郎	血管外科	1200万円	補委	厚生労働省
次世代型血管新生療法の開発を目的とした側副血行路発達メカニズムの分子病理学的研究	宮田哲郎	血管外科	350万円	補委	文部科学省
絹フィブロイン被覆人工血管の開発	重松邦広	血管外科	110万円	補委	文部科学省
人工細胞膜表面を有する新規小口径人工血管の開発	岡本宏之	血管外科	80万円	補委	文部科学省
メタボリック・シンドローム関連疾患における個別化医療の実現	宮田哲郎	血管外科	125万円	補委	文部科学省
動物実験による絹人工血管の基礎的知見の集積	岡本宏之	血管外科	1219万円	補委	農林水産省
血管新生制御マテリアルを用いた再生臓器に対する栄養血管付与技術の開発	小山博之	血管再生医療講座	310万円	補委	文部科学省
小児用補助人工心臓Berlin Heart Excorの安全性と有効性の研究	小野 稔	心臓外科	1063万円	補委	日本医師会治験促進センター

結核を必要としない微細縫合器の開発に関する研究	小野 稔	心臓外科	156万円	補委	日本学術振興会
全ての臓器と組織移植症例の一元的な登録と追跡制度の確立ならびにドナーとレシピエントの安全性確保とQOL向上に関する研究	小野 稔	心臓外科	20万円	補委	厚生労働省
急性大動脈症候群に対する予防治療の指針作成に向けた基礎研究	小野 稔	心臓外科	0円	補委	厚生労働省
同種組織移植におけるメチシリン耐性菌増殖抑制メカニズムの解明	齊藤 綾	心臓外科	130万円	補委	日本学術振興会
植物性スーパークーラントを用いた過冷却による24時間超長時間心保存法の開発	本村 昇	心臓外科	78万円	補委	日本学術振興会
慢性虚血性心疾患に対する在宅体外式カウターパルスセッション治療の有効性の検討	清水 剛	心臓外科	143万円	補委	日本学術振興会
重症心不全患者の心機能回復を目指した補助人工心臓による心臓リハビリシステムの構築	西村 隆	心臓外科	1356万円	補委	日本学術振興会
転移性肺腫瘍に対する活性化自己 $\gamma\delta$ T細胞による合併免疫療法の臨床的研究	中島 淳	呼吸器外科	143万円	補委	文部科学省
移植気道のリモデリング機構の解明:上皮間葉移行現象に着目した新たな試み	村川 知弘	呼吸器外科	130万円	補委	文部科学省
脳虚血後の神経再生・炎症・遺伝子治療に関わる総合的研究	斉藤延人	脳神経外科	1053万円	補委	日本学術振興会
融合化三次元画像を用いた拡張現実手術シミュレーション装置の開発	斉藤延人	脳神経外科	260万円	補委	日本学術振興会
プリオン病のサーベイランスと感染予防に関する調査研究	斉藤延人	脳神経外科	100万円	補委	厚生労働省
プリオン病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	斉藤延人	脳神経外科	50万円	補委	厚生労働省
悪性脳腫瘍克服のための新規治療的及びバイオマーカーの創出	斉藤延人	脳神経外科	1000万円	補委	文部科学省
新規ナビゲーションの開発と術中MRIを用いた、脳神経機能温存の脳腫瘍手術	斉藤延人	脳神経外科	600万円	補委	国立がん研究センター
神経回路過剰同期性に注目した新規てんかん焦点診断及び治療の開発へ向けた総合的研究	川合謙介	脳神経外科	260万円	補委	日本学術振興会
真の難治性てんかんに対する非切除的治療法の開発研究	川合謙介	脳神経外科	2200万円	補委	厚生労働省
膠芽腫及びその腫瘍幹細胞のepigeneticなprofileに応じた個別化療法	齊藤邦昭	脳神経外科	234万円	補委	日本学術振興会
膠芽腫の分子標的治療耐性関連遺伝子群の機能解析とそれに基づく新規治療法の創出	武笠晃丈	脳神経外科	754万円	補委	日本学術振興会
神経障害後の運動麻痺・感覚異常に対するリハビリテーションロボットスーツとナレッジデータベースシステムに基づいた在宅リハビリテーション支援システムの開発	住谷昌彦	麻酔科	1482万円	補委	新エネルギー・産業技術総合開発機構
がん性疼痛患者のQOL向上のための橋渡し研究連携拠点の構築	山田芳嗣 住谷昌彦	麻酔科	3050万円	補委	厚生労働省
間質性膀胱炎の病態における膀胱上皮由来伝達物質に関する研究	本間之夫	泌尿器科・男性科	117万円	補委	日本学術振興会
医学的機能評価に基づく高齢者の排尿自立支援	本間之夫	泌尿器科・男性科	500万円	補委	科学技術振興機構
ウロプラキシンIII-delta4を分子マーカーとした間質性膀胱炎の新規診断法の開発	本間之夫	泌尿器科・男性科	10万円	補委	日本学術振興会
皮下脂肪細胞由来幹細胞を用いた勃起不全治療法の開発	西松寛明	泌尿器科・男性科	26万円	補委	日本学術振興会
癌特異的プロモータを利用した抗癌ウイルス療法の構築～腎癌、前立腺癌において	福原 浩	泌尿器科・男性科	117万円	補委	日本学術振興会
結石を対象とする非侵襲超音波診断・治療統合システムの開発	野宮 明	泌尿器科・男性科	65万円	補委	日本学術振興会
求心性神経伝達系を標的とする下部尿路機能障害の新規薬物療法の開発	井川靖彦 本間之夫	コンチネンス医学講座 泌尿器科・男性科	170万円	補委	日本学術振興会
子宮内膜症・エストロゲン依存性婦人科腫瘍の発生・進展機構の分子的解明	矢野 哲	女性外科	100万円	補委	文部科学省
早産の予知・治療法開発を目指した脱落膜マクロファージの分化・機能に関する研究	永松 健	女性外科	102万円	補委	文部科学省

子宮体癌・卵巣明細胞癌における新規分子標的治療法とそのバイオマーカーの探索	織田 克利	女性外科	170万円	補委	文部科学省
慢性炎症性疾患としての子宮内膜症における小胞体ストレスの意義	長谷川 亜希子	女性外科	210万円	補委	文部科学省
東南アジアの男性同性愛者に感染するHPV及びHBVの分子疫学	川名 敬	女性外科	100万円	補委	文部科学省
新生児低酸素性虚血性脳症に対する治療戦略の開発に向けた基礎的研究	亀井 良政	女性診療科・産科	100万円	補委	文部科学省
生殖補助医療がヒト受精卵におよぼすエピジェネシス制御に関する検討	藤本 晃久	女性診療科・産科	100万円	補委	文部科学省
抗老化分子SIRT1制御を標的とした新規着床機能解明および着床不全治療戦略の開発	平池 修	女性診療科・産科	190万円	補委	文部科学省
卵巣での血管新生調節作用における、黄体刺激ホルモン受容体の意義の検討	原田 美由紀	女性診療科・産科	120万円	補委	文部科学省
妊娠における免疫介入脂質メディエーターの生理的・病理的意義に関する研究	藤井 知行	女性診療科・産科	170万円	補委	文部科学省
子宮内膜症の発症・進展におけるアレルギー性炎症の意義	大須賀 穰	女性診療科・産科	220万円	補委	文部科学省
血管新生調節因子に着目した妊娠高血圧症候群の予知・予防・治療法の確立	甲賀 かをり	女性診療科・産科	170万円	補委	文部科学省
子宮頸癌に対する新規治療ワクチンの効果増強に関する研究	川名 敬	女性診療科・産科	150万円	補委	文部科学省
プロゲステロンによる妊娠成立および維持に関わる免疫制御機構の解明	武谷 雄二	女性診療科・産科	200万円	補委	文部科学省
ナノテクノロジーを用いた長寿関連遺伝子SIRT1に対する分子標的抗腫瘍剤の開発	曾根 献文	女性診療科・産科	190万円	補委	文部科学省
高分子ナノミセル内包MG132とマイクロメーキング技術の婦人科適治療への応用	松本 陽子	女性診療科・産科	140万円	補委	文部科学省
ヒト卵巣におけるFOXL2の機能解析	大石 元	総合周産母子医療センター	180万円	補委	文部科学省
プロゲステロンの妊娠維持機構についての免疫学的解析	廣田 泰	女性診療科・産科	150万円	補委	文部科学省
進行性卵巣がんの治療感受性を規定する遺伝子変異の同定	矢野 哲	女性外科	1250万円	補委	文部科学省
超高感度電気化学イメージング技術を応用したヒト生殖細胞クオリティー診断装置の開発	吉野 修	女性診療科・産科	200万円	補委	厚生労働省
超高感度電気化学イメージング技術を応用したヒト生殖細胞クオリティー診断装置の開発	藤本 晃久	女性診療科・産科	200万円	補委	厚生労働省
ヒトパピローマウイルスを標的とする発がん予防の研究	川名 敬	女性診療科・産科	710万円	補委	厚生労働省
漢方薬によるワクチンアジュバント効果の検討と臨床応用	川名 敬	女性診療科・産科	800万円	補委	厚生労働省
ライフスタイルの変化に伴う妊娠希望時の妊孕性減弱に対する病態解明、新規診断法と治療法開発のための研究	大須賀 穰	女性診療科・産科	0円 代表者一括計	補委	厚生労働省
マルファン症候群の日本人に適した診断基準と治療指針の作成	兵藤 博信	女性診療科・産科	0円 代表者一括計	補委	厚生労働省
皮膚細胞浸潤におけるbeta7インテグリンの役割と悪性黒色腫	門野岳史	皮膚科	117万円	補委	日本学術振興会
イミキモド誘発乾燥モデルマウスを用いた乾燥におけるIL-27の役割	柴田彩	皮膚科	156万円	補委	日本学術振興会
IP-10/CXCL10、CXCR3ノックアウトマウスにおける逆アルサス反応	野田真史	皮膚科	60万円	補委	日本学術振興会
CCR7リガンドがマウスランゲルハンス細胞のTh2ケモカイン産生に及ぼす影響	藤田英樹	皮膚科	195万円	補委	日本学術振興会
全身性強皮症に伴う血管障害の発症機序におけるエンドセリンの意義	浅野善英	皮膚科	195万円	補委	日本学術振興会
腫瘍免疫、血管炎、乾燥様皮膚炎におけるリンパの役割	菅谷誠	皮膚科	182万円	補委	日本学術振興会

乾燥マウスモデルにおけるB細胞の役割の 解明と治療への応用	築場広一	皮膚科	208万円	補 委	日本学術振興会
ステロイドによるリンリン脂質合成酵素の発 現制御機構の解析	住田隼一	皮膚科	195万円	補 委	日本学術振興会
細胞接着分子による深部静脈血栓症制御 機構の解析	桑野嘉弘	皮膚科	221万円	補 委	日本学術振興会
全身性強皮症の新規動物モデルの作成	佐藤伸一	皮膚科	169万円	補 委	日本学術振興会
強皮症における病因解明と根治的治療法 の開発	佐藤伸一・浅野善英	皮膚科	710万円	補 委	厚生労働科学研究
アトピー性皮膚炎の発症・症状の制御およ び治療法の確立普及に関する研究	菅谷誠	皮膚科	90万円	補 委	厚生労働科学研究
TLRノックアウトマウスを用いた全身性強皮 症の病態解明	高橋岳	皮膚科	90万円	補 委	日本学術振興会
全身性強皮症におけるIRF5の役割につい ての解析	谷口隆史	皮膚科	80万円	補 委	日本学術振興会
角膜内皮および実質における精製医療実 現のための基盤技術の確立	天野 史郎	眼科	455万円	補 委	文部科学省
眼表面感染症・炎症性疾患におけるシンド カンの役割解明	天野 史郎	眼科	180万円	補 委	文部科学省
網膜変性もにおける網膜色素上皮細胞の上 皮間葉移行	玉置 泰裕	眼科	115万円	補 委	文部科学省
無血清、無フィーダーによる未分化培養ヒト 角膜輪部上皮培養法の確立	山上 聡	角膜移植部	195万円	補 委	文部科学省
緑内障性神経障害・網膜から高次脳神経 及びグリア細胞に及ぶ系統的器質障害機 能の解明	相原一	眼科	365万円	補 委	文部科学省
視神経炎の疾患感受性遺伝子の研究	蕪城 俊克	眼科	65万円	補 委	文部科学省
ケモカイン受容体を標的とした新たな加齢 黄斑変性の治療戦略	柳 靖雄	眼科	286万円	補 委	文部科学省
角膜血管新生におけるセマフォリンの機能	白井 智彦	眼科	182万円	補 委	文部科学省
角膜非薄化疾患に対するコラーゲンクロス リンクによる人口角膜実質移植の検討	宮井 尊史	眼科	273万円	補 委	文部科学省
角膜血管新生、リンパ管新生における白血 病抑制因子の役割	杉崎 顕史	眼科	273万円	補 委	文部科学省
狂犬病ウイルスを用いた大脳皮質トッ ン式視覚情報処理機能の生理学解剖学的 研究	澤村 裕正	眼科	117万円	補 委	文部科学省
自己結膜組織幹細胞を利用した再生角膜 移植の開発	三村 達哉	眼科	117万円	補 委	文部科学省
上皮・実質・内皮幹細胞のエピジェネティ ク分化制御による革新的な三次元的角膜の 再生	三村 達哉	眼科	1144万円	補 委	文部科学省
組織幹細胞と癌との類似性に関する研究	横尾 誠一	眼科	326万円	補 委	文部科学省
運動器機能の統合的制御に関する基礎的 研究	田中 栄	整形外科・脊椎外科	962万円	補 委	日本学術振興会
治療標的分子探索を目指したNFκBシグ ナルによる軟骨・骨の統合的制御機構の解 明	伊藤 英也	整形外科・脊椎外科	325万円	補 委	日本学術振興会
転写因子C/EBPファミリーによる軟骨代謝 調節メカニズムの解析	三浦 俊樹	整形外科・脊椎外科	90万円	補 委	日本学術振興会
脊椎外科手術における硬膜周囲癒着防止 材の創生	原 慶宏	整形外科・脊椎外科	130万円	補 委	日本学術振興会
変形性腰椎症の分子病態解明と治療標 的分子同定を目指した戦略的研究	川口 浩	整形外科・脊椎外科	1534万円	補 委	日本学術振興会
G蛋白シグナルを軸とした軟骨分化の包 括的制御機構の解明	竹下 克志	整形外科・脊椎外科	624万円	補 委	日本学術振興会
細胞質内輸送タンパクSNXによる軟骨誘 導リガンドの応答性調節機構の解明	竹下 克志	整形外科・脊椎外科	169万円	補 委	日本学術振興会
破骨細胞分化のエピジェネティックな制 御機構の解明	永瀬 雄一	整形外科・脊椎外科	182万円	補 委	日本学術振興会
変形性脊椎症の分子病態解明のための Cre/loxPシステムの確立を目指した研究	川口 浩	整形外科・脊椎外科	169万円	補 委	日本学術振興会
微小管制御による破骨細胞骨吸収分子メ カニズムの解明	田中 栄	整形外科・脊椎外科	264万円	補 委	日本学術振興会

RANKシグナル制御による新規骨肉腫治療法の可能性の開発	河野 博隆	整形外科・脊椎外科	310万円	補委	日本学術振興会
三次元積層技術を用いた新しい人工股関節手術支援システムの開発	伊藤 英也	整形外科・脊椎外科	195万円	補委	日本学術振興会
変形性関節症の新規治療法開発を目指したNotchシグナルの網羅的解析	筑田 博隆	整形外科・脊椎外科	897万円	補委	日本学術振興会
細菌接着・バイオフィルム形成を阻害する抗菌性チタン合金表面の創出	田中 健之	整形外科・脊椎外科	195万円	補委	日本学術振興会
生活習慣病予防のための運動を阻害する要因とその原因別の対策に関する研究	竹下 克志	整形外科・脊椎外科	500万円	補委	厚生労働省
老人性難聴の発症に影響する遺伝子群および遺伝外因子の解析	山岨 達也	耳鼻咽喉科	520万円	補委	日本学術振興会
前庭誘発眼筋電位(oVEMP)の発生機構に関する基礎的研究	岩崎 真一	耳鼻咽喉科	90万円	補委	日本学術振興会
メニエール病発作発現時と治療時における前庭機能に関する研究	柿木 章伸	耳鼻咽喉科	60万円	補委	日本学術振興会
高脂血症治療薬スタチン・プロブコールによる内耳障害抑制効果の検討	坂本 幸士	耳鼻咽喉科	300万円	補委	日本学術振興会
ミトコンドリア-活性酸素系の蝸牛内ライブイメージング	吉川 弥生	耳鼻咽喉科	160万円	補委	日本学術振興会
加齢性嗅覚障害の病態生理解明とその診断治療法開発のための分子生物学的研究	近藤 健二	耳鼻咽喉科	170万円	補委	日本学術振興会
加齢および廃用による嚥下障害の発症機序と予防法に関する基礎的研究	二藤 隆春	耳鼻咽喉科	80万円	補委	文部科学省
聴覚系における時間情報伝達・解析機構の包括的研究	狩野 章太郎	耳鼻咽喉科	60万円	補委	文部科学省
スギ花粉症の自然寛解機序の解明-形質細胞様樹状細胞の加齢による機能変化の観点から	平野 真希子	耳鼻咽喉科	120万円	補委	日本学術振興会
人工前庭器の開発に関する研究-両側前庭障害に対する新たなアプローチ-	牛尾 宗貴	耳鼻咽喉科	140万円	補委	日本学術振興会
頭頸部癌における分子標的薬治療の検査確立を目指した遺伝子解析	蝦原 康宏	耳鼻咽喉科	60万円	補委	文部科学省
内耳治療に向けてのウロキナーゼ抗アポトーシス作用の検討	樫尾 明憲	耳鼻咽喉科	120万円	補委	日本学術振興会
感冒後嗅覚障害の病態生理解明および予防治療法開発のための分子生物学的研究	金谷 佳織	耳鼻咽喉科	140万円	補委	日本学術振興会
学習による知識獲得と学習の転移の神経メカニズムの解明	雨宮 薫	耳鼻咽喉科	70万円	補委	日本学術振興会
成人・小児人工内耳装用者の雑音下における聴取能の研究	赤松 裕介	耳鼻咽喉科	50万円	補委	日本学術振興会
人工内耳装用者における言語理解時の視聴覚の寄与に関する研究	尾形 エリカ	耳鼻咽喉科	50万円	補委	日本学術振興会
日本におけるハイブリッド型人工内耳の適応基準の提唱および蝸牛を保護する電極・術式・薬剤	山岨 達也	耳鼻咽喉科	1500万円	補委	厚生労働省
新世代人工内耳に対応した内耳薬剤除放技術の開発	吉川 弥生	耳鼻咽喉科	235万円	補委	厚生労働省
先天性無汗症の診断・評価および治療・ケア指針作成のための研究	芳賀信彦	リハビリテーション科	570万円	補委	厚生労働省
軟骨無形成症の病態解明と治療法の開発	芳賀信彦	リハビリテーション科	100万円	補委	厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	芳賀信彦	リハビリテーション科	300万円	補委	厚生労働省
ビタミンD欠乏症の発症リスクに関する網羅的遺伝子解析	北中幸子	小児科	150万円	補委	日本学術振興会
「次世代がん研究戦略推進プロジェクト」次世代がん研究シーズ戦略的育成プログラム「統合的ゲノムスクニングによる難治性小児固形腫瘍の新規標的分子の探索」	滝田順子	小児科	1750万円	補委	文部科学省
小児固形腫瘍の発がん機構とがん幹細胞の体系的解析と新規治療法の開発	滝田順子	小児科	430万円	補委	日本学術振興会
先端ゲノミクスによる先天異常症の腫瘍と発達障害に関与する分子病態の統合的解析	滝田順子	小児科	170万円	補委	日本学術振興会
iPS細胞技術を用いた腫瘍幹細胞のリアプログラミングによる小児難治性肉腫の治療開発	滝田順子	小児科	30万円	補委	日本学術振興会
RAS関連自己免疫性リンパ球増殖症候群様疾患(RALD)の実態調査および病態因子解析	滝田順子	小児科	20万円	補委	厚生労働省

遺伝子修復異常症(Bloom症候群、Rothmund-Thomson症候群、RAPADILINO症候群、Ballar-Gerold症候群)の実態調査・早期診断法の確立に関する研究	滝田 順子	小児科	100万円	補委	厚生労働省
循環因子による糸球体硬化症発症機序の解明	張田 豊	小児科	520万円	補委	日本学術振興会
シグナル伝達解析およびプロテオーム解析によるネフローゼ症候群発症機序の解明	張田 豊	小児科	250万円	補委	日本学術振興会
心房内蔵錯位症候群の網羅的遺伝性解析—先天性心疾患の遺伝的成因の解明	犬塚 亮	小児科	200万円	補委	日本学術振興会
自己反応性抗体による川崎病発症機序の解明	清水信隆	小児科	160万円	補委	日本学術振興会
ネフローゼ症候群発症の分子基盤の解明	三浦健一郎	小児科	170万円	補委	日本学術振興会
Kenny-Caffey症候群2型の原因遺伝子の同定	磯島 豪	小児科	170万円	補委	日本学術振興会
超音波・MRI血流可視化システムに基づく成人期ファロー四徴症の手術適応基準の確立	林 泰佑	小児科	50万円	補委	日本学術振興会
外科全手術症例登録とその解析のための学会間ネットワーク構築に関する研究	岩中 督	小児外科	800万円	補委	厚生労働省
ユーザーインターフェース重視の腹腔鏡用細径多自由度鉗子の開発とNOTESへの展開	岩中 督	小児外科	403万円	補委	文部科学省
日本におけるリンパ管腫患者(特に重症患者の長期経過)の実態調査及び治療指針の作成	岩中 督	小児外科	100万円	補委	厚生労働省
Hirschsprung病類縁疾患の現状調査と診断基準に関するガイドライン作成	岩中 督	小児外科	一括計上	補委	厚生労働省
超微細手術のための汎用プラットフォーム開発とそれを支える超精密テクノロジーの追求	岩中 督	小児外科	100万円	補委	文部科学省
A型食道閉鎖症に対するNOTESアプローチを用いた非開胸一期的根治術の開発	寺脇 幹 岩中 督	小児外科	169万円	補委	文部科学省
小児外科疾患に対する幹細胞とその微小環境制御機構を利用した再生医療	小室広昭	小児外科	325万円	補委	文部科学省
上皮間葉移行から見た小児固形腫瘍の浸潤・転移機構の解明	小室広昭	小児外科	117万円	補委	文部科学省
複合的成長因子と軟骨細胞移植療法による気管形成術の開発研究	古村 眞	小児外科	195万円	補委	文部科学省
成長因子とドラッグデリバリーシステムを用いた重症気管軟化症の非侵襲治療法開発	杉山正彦 古村 眞	小児外科	130万円	補委	文部科学省
精神病初回発症例の疫学研究および早期支援・早期治療法の開発と効果確認に関する臨床研究	笠井 清登	精神神経科	250万円	補委	厚生労働省
精神神経疾患を中心とする統合脳画像データベースの構築	笠井 清登	精神神経科	650万円	補委	科学技術振興機構
データ複合型脳リソース構築、脳画像統合データベース支援活動:疾患拠点	笠井 清登	精神神経科	1300万円	補委	文部科学省
神経回路の動作原理に基づく社会的脳機能の計測・支援技術の開発と応用	笠井 清登	精神神経科	5980万円	補委	文部科学省
自己制御精神総括班	笠井 清登	精神神経科	1300万円	補委	文部科学省
分子から社会までの統合的アプローチによる自己制御の形成・修復支援	笠井 清登	精神神経科	5239万円	補委	文部科学省
社会行動関連分子機構の解明に基づく自閉症の根本的治療法創出	山末 英典	精神神経科	1010万円	補委	科学技術振興機構
マルチモダリティMRI解析を中間表現型とした対人行動の障害のゲノム要因の同定	山末 英典	精神神経科	370万円	補委	文部科学省
社会知能の客観的評価を実現する心理検査バッテリーの開発	山末 英典	精神神経科	210万円	補委	日本学術振興会
放射線肺臓炎の新規予防法開発を目指した基礎研究	井垣 浩	放射線科	190万円	補委	文部科学省
腫瘍免疫に基づくアブスコパル効果の解明と画期的な放射線治療戦略の開発	白石 憲史郎	放射線科	270万円	補委	文部科学省
強度変調原体照射中の同時4次元CT撮影法と腫瘍位置検出システムの開発	中川 恵一	放射線科	総額900万円	補委	文部科学省
臨床画像診断における医師と診断支援システムの協調的高性能化の研究	野村 行弘	放射線科	230万円	補委	文部科学省

形態・機能・疾患を統合した新しい脳アトラスに基づく診断・治療システムの開発	増谷 佳孝	放射線科	286万円	補委	文部科学省
計算解剖学の基礎数理	増谷 佳孝	放射線科	3055万円	補委	文部科学省
脂質メディエーターの臨床検査医学の構築	矢冨 裕	検査部	741万円	補委	日本学術振興会
文部科学省基盤研究B「次世代肺がんチロシンキナーゼ阻害薬の感受性マーカーの同定と治療標的分子の探索」	高井大哉	検査部	793万円	補委	日本学術振興会
アストラゼネカリサーチグラント「A novel cytosolic molecule for treatment of NSCLC」	高井大哉	検査部	200万円	補委	アストラゼネカ
第一三共TaNeDS「非受容体型チロシンキナーゼFERの肺癌発症への寄与の解明ならびに創薬へ向けた基盤的研究」	高井大哉	検査部	800万円	補委	第一三共製薬
ヘパリン起因性血小板減少症の検査における分子病態解析と新規検査法の開発	金子 誠	検査部	104万円	補委	日本学術振興会
高感度第 VIII 因子活性測定のための改変APTT測定法の検討	金子 誠	検査部	65万円	補委	Baxter Coagulation Research Fund
心筋転写因子の翻訳後修飾と心臓発生におけるその役割	廣井透雄	検査部	60万円	補委	日本学術振興会
肝線維化関連遺伝子の肝発癌への寄与の検証	池田 均	検査部	100万円	補委	文部科学省
脂質メディエーター作用制御による新たな肝障害治療の試み	池田 均	検査部	91万円	補委	日本学術振興会
造血器腫瘍におけるリン脂質の機能的役割に関する研究～臨床検査への応用を目指して～	増田 亜希子	検査部	80万円	補委	公益財団法人 黒住医学研究振興財団
EBウイルス関連胃癌、DNAメチル化亢進の分子機序の解明と胃癌治療への展開	深山正久	病理部	806万円	補委	日本学術振興会
自然言語処理とオントロジーに基づく自由テキスト入力支援の医療文書への応用	深山正久	病理部	183万円	補委	科学技術振興機構
診断・治療への貢献を目指した高肝転移性胃癌の解析	牛久哲男	病理部	312万円	補委	日本学術振興会
前駆病変に着目した卵巣異細胞腺癌研究	前田大地	病理部	150万円	補委	日本学術振興会
児童青年精神科領域における診断・治療の標準化に関する研究	金生由紀子	こころの発達診療部	40万円	補委	厚生労働省
精神医学的障害の早期発見と早期介入：児童期から成人期への連続性・不連続性の解明	金生由紀子	こころの発達診療部	160万円	補委	厚生労働省
近赤外線分光鏡を用いた広汎性発達障害の診断法の開発	桑原 斉	こころの発達診療部	65万円	補委	文部科学省
成人期のアスペルガー障害の表情模倣に関わる神経基盤の解明とその可塑性の検討	川久保友紀	こころの発達診療部	156万円	補委	文部科学省
NIRSを用いた精神疾患の早期診断についての実用化研究	川久保友紀	こころの発達診療部	160万円	補委	厚生労働省
胃がんバイオマーカーとしての血清TFF3の起原の検討	野村 幸世	がん相談支援センター 胃食道外科	221万円	補委	文部科学省
多領域癌スクリーニングマーカーとしての血清Treff Factor Family 3 (TFF3)の有用性の検討	野村 幸世	がん相談支援センター 胃食道外科	200万円	補委	高松宮妃癌研究基金研究助成金
がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用	中川 恵一	東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部	30万円	補委	厚生労働省
がん性疼痛治療の施設成績を評価する指標の妥当性を検証する研究	岩瀬 哲	東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部	150万円	補委	厚生労働省
がん性疼痛などの緩和のための病態生理に基づいた新たな治療法の開発	岩瀬 哲	東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部	300万円	補委	厚生労働省
臨床試験ネットワーク、およびデータセンターの構築。生物統計・研究支援組織構築	岩瀬 哲	東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部	50万円	補委	国立がん研究センター
新世代長鎖複合ペプチドがんワクチンの基盤開発とTreg制御による免疫増強	垣見和宏	免疫細胞治療学講座	340万円	補委	文部科学省
免疫制御プログラムを組み込んだ新しい放射線治療の開発	垣見和宏	免疫細胞治療学講座	30万円	補委	文部科学省
「癌特異的抗原受容体改変T細胞の輸注とがんワクチンによる複合的がん免疫療法の研究開発」	垣見和宏	免疫細胞治療学講座	700万円	補委	新エネルギー・産業技術総合開発機構
人工アジュバントベクター細胞の開発	垣見和宏	免疫細胞治療学講座	305万円	補委	科学技術振興機構
基盤研究C「相互作用解析と発言解析による2型糖尿病遺伝素因の解明」	原 一雄	糖尿病・代謝内科 統合的分子代謝疾患科学講座	65万円	補委	文部科学省

若手研究A「骨格筋と肝臓におけるア ディポネクチンシグナルの比較解析と 運動効果の統合的解析」	岩部 真人	糖尿病・代謝内科 統合的分子代謝疾患科学講座	1105万円	補 委	文部科学省
マルファン症候群の日本人に適した診断基 準と治療指針の作成	平田恭信	循環器内科 先端臨床医学開発講座	1300万円	補 委	厚生労働省
COPD患者の呼吸器リハビリテーションにお ける加圧筋力トレーニングの応用	(分担)中島 敏明 (代表)永田泰自	加圧トレーニング虚血循環 生理学	104万円	補 委	文部科学省
加圧トレーニングの利点を生かした筋力改 善プログラムの開発	安田 智洋	加圧トレーニング虚血循環 生理学	195万円	補 委	文部科学省
ロコモティブシンドロームの疫学指標の解明 による要介護予防戦略の確立	吉村典子	関節疾患総合研究講座	460万円	補 委	日本学術振興会
網羅的特定を目指した変形性膝関節症感 受性遺伝子の解明	吉村典子	関節疾患総合研究講座	10万円	補 委	日本学術振興会
腰部脊柱管狭窄症の発症要因の解明:車 両搭載型MRIを用いた地域住民コホート研 究	吉村典子	関節疾患総合研究講座	5万円	補 委	日本学術振興会
膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予 防のための地域代表性を有する大規模住民 コホート追跡研究	吉村典子	関節疾患総合研究講座	6978万円	補 委	厚生労働省
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	吉村典子	関節疾患総合研究講座	300万円	補 委	厚生労働省
運動器疾患の評価と要介護予防のための 指標開発および効果的介入方法に関する 調査研究	吉村典子	関節疾患総合研究講座	150万円	補 委	厚生労働省
モバイル歩行解析システムの構築および歩 行に関する基準値と歩行障害の危険因子 の解明	岡敬之	関節疾患総合研究講座	70万円	補 委	日本学術振興会
変形性関節症の病因解明・治療標的分子 特定のための統合研究:ROADプロジェクト	岡敬之	関節疾患総合研究講座	100万円	補 委	日本学術振興会
認知症・関節症・骨折の疫学エビデンスの 解明と要介護高齢者の一次・二次予防のた めの効率的評価システムの開発	岡敬之	関節疾患総合研究講座	212万円	補 委	厚生労働省
生体親和性材料によるナノ表面処理を用 いた画期的な人工膝関節の開発に関する研 究	岡敬之	関節疾患総合研究講座	代表者に一括 計上	補 委	厚生労働省
厚生労働科学研究費補助金・政策科学推 進研究事業「診断群分類を用いた急性期 医療、亜急性期医療、外来医療の評価手 文部科学研究費補助金・基盤研究B「日本 版診断群分類(DPC)データベースを活用 した臨床疫学研究	康永秀生	医療経営政策学	700万円	補 委	厚生労働省
厚生労働科学研究費補助金・基盤研究B「日本 版診断群分類(DPC)データベースを活用 した臨床疫学研究	康永秀生	医療経営政策学	470万円	補 委	文部科学省
一般住民コホートの全脊椎MRI健診デー タを用いた脊椎疾患のエビデンス解明	阿久根徹	臨床運動器医学講座	560万円	補 委	日本学術振興会
変形性関節症の病因解明・治療標的分子 特定のための統合研究:ROADプロジェクト	阿久根徹	臨床運動器医学講座	100万円	補 委	日本学術振興会
網羅的特定を目指した変形性膝関節症感 受性遺伝子の解明	阿久根徹	臨床運動器医学講座	10万円	補 委	日本学術振興会
運動器疾患の評価と要介護予防のための 指標開発および効果的介入方法に関する 調査研究	阿久根徹	臨床運動器医学講座	6165万円	補 委	厚生労働省
膝痛・腰痛・骨折に関する高齢者介護予 防のための地域代表性を有する大規模住民 コホート追跡研究	阿久根徹	臨床運動器医学講座	350万円	補 委	厚生労働省
変形性関節症の重症度定量的評価の確立 および危険因子の解明:日英米国際共同 研究	村木重之	臨床運動器医学講座	610万円	補 委	日本学術振興会
MRIによる軟骨評価ソフトウェアを用いた 変形性股関節症関連因子の解明	村木重之	臨床運動器医学講座	110万円	補 委	日本学術振興会
高齢者地域住民コホート研究による加齢性 筋肉現弱現象(サルコペニア)の実態把握 および予防対策に関する研究	村木重之	臨床運動器医学講座	182万円	補 委	厚生労働省
地域住民コホート縦断研究による転倒の発 生率および予測因子に関する研究	村木重之	臨床運動器医学講座	80万円	補 委	日本骨粗鬆症学会
高齢者における転倒の発生率および危険 因子の解明	村木重之	臨床運動器医学講座	80万円	補 委	(財)総合健康推進財団
高齢者における運動機能低下の危険因子 および転倒との関連の解明	村木重之	臨床運動器医学講座	100万円	補 委	(財)明治安田厚生事業 団
肺癌におけるIGFBP-2の役割とバイオマ ーカーとしての評価	右田 敏郎	抗加齢医学講座	100万円	補 委	文部科学省
巨大VLDLの産生機構の解明とその 制御による新規高脂血症治療法の開 発	岡崎 啓明	糖尿病・代謝内科	169万円	補 委	文部科学省
漢方薬の作用機序を解明するための研究	鈴木洋史	薬剤部	1279万円	補 委	厚生労働省
薬剤師教育における実務実習指導薬剤師 及び実務家教員に関する実態把握	鈴木洋史	薬剤部	520万円	補 委	厚生労働省
大規模生体内分子測定による薬物誘発性 肝障害バイオマーカーの探索研究	本間雅	薬剤部	558万円	補 委	厚生労働省



臓器間協働で統合される生体システムによる小分子挙動制御の解析	鈴木洋史	薬剤部	2223万円	(補委)	文部科学省
小分子生体内挙動を制御する因子の組織・臓器階層における網羅的解析	樋坂章博	薬理動態学教室 (寄附講座)	312万円	(補委)	文部科学省
生理学的モデルに基づいた分子標的薬による副作用発現プロファイルの予測	鈴木洋史	薬剤部	390万円	(補委)	日本学術振興会
アパカビルによる過敏症発症機構の解析	鈴木洋史	薬剤部	156万円	(補委)	日本学術振興会
CYPによる代謝活性化を伴う薬物有害反応の発現に関する研究	樋坂章博	薬理動態学教室 (寄附講座)	312万円	(補委)	日本学術振興会
新規薬効標的分子の探索を目指した尿酸の全身動態モデルの構築	高田龍平	薬剤部	832万円	(補委)	日本学術振興会
薬剤性肝障害発症基盤としての肝臓GSH低下に関わる分子機序の解析	伊藤晃成	薬剤部	143万円	(補委)	日本学術振興会
RANKLリバース・シグナル阻害による骨粗鬆症治療の可能性検証	本間雅	薬剤部	169万円	(補委)	日本学術振興会
TDM対象抗菌薬のクリアランスに基づくTDM非対象抗菌薬の投与量設計に関する研究	山本武人	薬剤部	247万円	(補委)	日本学術振興会
Wntシグナル経路の制御による骨形成促進薬の可能性検証	三浦将吾	薬剤部	182万円	(補委)	日本学術振興会
薬物間相互作用及び遺伝子多型による動態変化と臨床的重要度の予測データベースの構築	大野能之	薬剤部	208万円	(補委)	日本学術振興会
脂質異常症の個別化医療を指向した消化管ステロール吸収の性差とその分子機構の解明	山梨義英	薬理動態学教室 (寄附講座)	151万円	(補委)	日本学術振興会
骨芽細胞におけるRANKL放出制御機構の解析	荻谷嘉顕	薬剤部	70万円	(補委)	日本学術振興会
胆汁形成におけるMDR3/ABCB4と新規共役因子RACK1の相互作用の解析	池瀬祐樹	薬剤部	70万円	(補委)	日本学術振興会
肝移植予後予測バイオマーカーの確立と、肝再生規定因子の同定	小沢政成	薬剤部	70万円	(補委)	日本学術振興会
骨芽細胞内RANKL挙動制御機構に着目した、骨破壊疾患に対する新規創薬標的の探索	青木重樹	薬剤部	70万円	(補委)	日本学術振興会
腎疾患患者におけるGFR以外の薬物動態変動要因の解析	山田麻衣子	薬剤部	60万円	(補委)	日本学術振興会
フッピリミジン系抗がん剤とCYP2C9基質の相互作用に関する研究	櫻井愛	薬剤部	40万円	(補委)	日本学術振興会
代謝過程に着目したポリコザノールの体内動態解析と投与量設計への応用に関する研究	大久保聡	薬剤部	50万円	(補委)	日本学術振興会
ABCG2/BCRPによる尿酸輸送に対する尿酸排泄促進薬の効果	高田龍平	薬剤部	20万円	(補委)	痛風財団
統合的多階層生体機能学領域の確立とその応用	鈴木洋史	薬剤部	39万円	(補委)	文部科学省
加圧トレーニングによる骨格筋肥大の分子機構の解明と高齢者サルコペニアへの応用	中島 敏明	22世紀医療センター 加圧トレーニング虚血循環生理学	429万円	(補委)	文部科学省
ヒト腎臓由来iPS細胞を用いたNF- $\kappa$ B制御による新規腎臓再生療法法の検討	高瀬 敦	Tissue Engineering部 先端腎臓・再生医学講座	130万円	(補委)	日本学術振興会
腎上皮細胞由来iPS細胞を用いた障害腎への再生医療の試み	高瀬 敦	Tissue Engineering部 先端腎臓・再生医学講座	100万円	(補委)	特定非営利活動法 日本抗加齢協会
感染性を完全に排除した合成ハイドロゲルによるヒトiPS細胞およびヒトES細胞維持培養および分化誘導方法の確立	菱川慶一	先端腎臓再生医学講座	1150万円	(補委)	文部科学省
ヒト腎臓細胞由来iPS細胞による次世代人工腎臓再生の試み	菱川慶一	先端腎臓再生医学講座	220万円	(補委)	文部科学省
ヒト腎臓細胞由来iPS細胞の細胞記憶を利用した新規細胞移植療法法の開発	吉川真弘	先端腎臓再生医学講座	220万円	(補委)	文部科学省
3次元再生軟骨・骨組織における安全性と有効性の確立	高戸 毅	顎口腔外科・歯科矯正歯科 軟骨・骨再生医療寄附講座 (富士ソフト)	55万円	(補委)	厚生労働省
次世代再生医療技術の研究開発生体内で自律的に成熟する臓器再生デバイスのための基盤研究開発	高戸 毅	顎口腔外科・歯科矯正歯科 軟骨・骨再生医療寄附講座 (富士ソフト)	10219万円	(委)	新エネルギー・産業 技術総合開発機構
次世代再生医療技術の研究開発生体内で自律的に成熟する臓器再生デバイスのための評価技術研究開発	高戸 毅	顎口腔外科・歯科矯正歯科 軟骨・骨再生医療寄附講座 (富士ソフト)	1230万円	(委)	新エネルギー・産業 技術総合開発機構

外科系インプラントとしてのスcaffoldsフリー3次元再生軟骨の開発	星 和人	顎口腔外科・歯科矯正歯科 軟骨・骨再生医療寄付講座 (富士ソフト)	403万円	補 委	文部科学省
iPS 細胞を臨床応用するための各種細胞への分化誘導システムの確立/iPS 細胞から誘導した分化細胞による前臨床研究推進のためのモデル開発	齋藤 琢	骨軟骨再生医療寄付講座	1500万円	補 委	文部科学省
ヒト角膜内皮細胞を用いた角膜内皮組織再生医療材料の実用化開発	山上 聡	角膜移植部(TE部)	3000万円	委	文部科学省
ヒト角膜内皮体性幹細胞を用いた角膜内皮細胞移植法の実用化	山上 聡	角膜移植部(TE部)	6000万円	委	文部科学省
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	
				補 委	

計 337

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Int Arch Allergy Immunol	Simultaneous stimulation with TGF- $\beta$ 1-and TNF- $\alpha$ induces epithelial mesenchymal transition in bronchial epithelial cells.	Kamitani S et al	呼吸器内科
Exp Lung Res	Suppression of transforming growth factor $\beta$ 1 in lung alveolar epithelium-decells using adeno-associated virus type 2/5 vectors to carry short hairpin RNA.	Kage H et al	呼吸器内科
Oncology	Hepatocarcinogenesis in hepatitis C: HCV shrewdly exacerbates oxidative stress by modulating both production and scavenging of reactive oxygen species.	藤永秀剛	消化器内科
BMC Gastroenterol	Postprandial fullness correlates with rapid inflow of gastric content into duodenum but not with chronic gastritis.	山道信毅	消化器内科
Am J Gastroenterol	Radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma: 10-year outcome and prognostic factors.	椎名秀一朗	消化器内科
J Gastroenterol	Different subtypes of intraductal papillary mucinous neoplasm in the pancreas have distinct pathways to pancreatic cancer progression.	毛利大	消化器内科
Clin Gastroenterol Hepatol	Lower incidence of biliary carcinoma in patients with primary sclerosing cholangitis and high serum levels of immunoglobulin E.	平野賢二	消化器内科
Hepatology	Incidence of small intestinal lesions in patients with iron deficiency anemia.	山田篤生	消化器内科
PLoS One	Receptor for activated protein kinase C: requirement for efficient microRNA function and reduced expression in hepatocellular carcinoma.	大塚基之	消化器内科
J Clin Invest	Inhibiting Cxcr2 disrupts tumor-stromal interactions and improves survival in a mouse model of pancreatic ductal adenocarcinoma.	伊地知秀明	消化器内科
J Gastroenterol	Fever-based antibiotic therapy for acute cholangitis following successful endoscopic biliary drainage.	木暮宏史	消化器内科
Biochem Biophys Res Commun	MicroRNA-22 and microRNA-140 suppress NF- $\kappa$ B activity by regulating the expression of NF- $\kappa$ B coactivators.	高田朱実	消化器内科
Gastrointest Endosc	Duodenal invasion is a risk factor for the early dysfunction of biliary metal stents in unresectable pancreatic cancer.	濱田毅	消化器内科
Abdom Imaging	Diagnostic yield of capsule endoscopy for gastric diseases.	小林由佳	消化器内科
J Hepatol	Altered composition of fatty acids exacerbates hepatotumorigenesis during activation of the phosphatidylinositol 3-kinase pathway.	工藤洋太郎	消化器内科
Oncology	Gemcitabine and oxaliplatin combination chemotherapy for patients with refractory pancreatic cancer.	伊佐山浩通	消化器内科
Nat Commun	MicroRNA122 is a key regulator of $\alpha$ -fetoprotein expression and influences the aggressiveness of hepatocellular carcinoma.	小島健太郎	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol	Impact of introduction of wire-guided cannulation in therapeutic biliary endoscopic retrograde cholangiopancreatography.	中井陽介	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol	Gastric cancer risk according to the distribution of intestinal metaplasia and neutrophil infiltration.	崎谷康祐	消化器内科
Hepatology	Apoptosis signal-regulating kinase 1 inhibits hepatocarcinogenesis by controlling the tumor-suppressing function of stress-activated mitogen-activated protein kinase.	中川勇人	消化器内科

Cancer	Hepatocellular carcinoma with extrahepatic metastasis: clinical features and prognostic factors.	内野康志	消化器内科
Gut	Incidence of extrapancreatic malignancies in patients with intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas.	川久保和道	消化器内科
Proc Natl Acad Sci U S A.	Apoptosis signal-regulating kinase 1 and cyclin D1 compose a positive feedback loop contributing to tumor growth in gastric cancer.	早河翼	消化器内科
Int J Cancer	Serum level of adiponectin and the risk of liver cancer development in chronic hepatitis C patients.	新野徹	消化器内科
Liver Int	Intrahepatic bile duct dilatation after percutaneous radiofrequency ablation for hepatocellular carcinoma: impact on patient's prognosis.	近藤祐嗣	消化器内科
Gut	Duodenal mass in a patient with weight loss and liver dysfunction. Duodenal and liver sarcoidosis.	辻野武	消化器内科
J Gastroenterol	A genetic polymorphism of CYP2C19 is associated with susceptibility to biliary tract cancer.	磯村好洋	消化器内科
Int J Cancer	Reduced expression of RAS protein activator like-1 in gastric cancer.	瀬戸元子	消化器内科
J Gastroenterol	Serum gamma-glutamyltransferase level is associated with serum superoxide dismutase activity and metabolic syndrome in a Japanese population.	中川勇人	消化器内科
Gut Liver	Short-term healing process of artificial ulcers after gastric endoscopic submucosal dissection.	後藤修	消化器内科
Dig Dis Sci	A multicenter survey of the management after gastric endoscopic submucosal dissection related to postoperative bleeding.	後藤修	消化器内科
Int J Oncol	Anti-tumor activity of the proteasome inhibitor bortezomib in gastric cancer.	中田和智子	消化器内科
Hepatol Res	Cancer preventive effect of pegylated interferon $\alpha$ -2b plus ribavirin in a real-life clinical setting in Japan: PERFECT interim analysis.	小池和彦	消化器内科
Gastrointest Endosc	Percutaneous transhepatic cholangioscopy with an ultraslim video upper endoscope with CO <sub>2</sub> insufflation: a feasibility study.	濱田毅	消化器内科
Pancreas.	Significance of measuring IgG and IgG4 during follow-up of autoimmune pancreatitis.	平野賢二	消化器内科
World J Clin Oncol	Recent progress and limitations of chemotherapy for pancreatic and biliary tract cancers.	多田稔	消化器内科
J Gastroenterol Hepatol.	Conflicting clinical environment about the management of antithrombotic agents during the periendoscopic period in Japan.	小野敏嗣	消化器内科
World J Gastrointest Endosc	Endoscopic transpapillary gallbladder drainage with replacement of a covered self-expandable metal stent.	川久保和道	消化器内科
Gastric Cancer	New method of endoscopic full-thickness resection: a pilot study of non-exposed endoscopic wall-inversion surgery in an ex vivo porcine model.	後藤修	消化器内科
Invest New Drugs	Feasibility study of gemcitabine and cisplatin combination chemotherapy for patients with refractory biliary tract cancer.	佐々木隆	消化器内科
Surg Endosc	Newly designed large cell Niti-S stent for malignant hilar biliary obstruction: a pilot study.	木暮宏史	消化器内科

Cancer Chemother Pharmacol	Prognostic factors in patients with advanced biliary tract cancer receiving chemotherapy.	佐々木隆	消化器内科
Crit Rev Oncol Hematol	Comorbidity, not age, is prognostic in patients with advanced pancreatic cancer receiving gemcitabine-based chemotherapy.	中井陽介	消化器内科
Am J Pathol	Glyoxalase I retards renal senescence.	南学正臣	腎臓内分泌内科
Am J Pathol	Cytoglobin, a novel member of the globin family, protects kidney fibroblasts against oxidative stress under ischemic conditions.	南学正臣	腎臓内分泌内科
Lab Invest	Indoxyl sulfate, a representative uremic toxin, suppresses erythropoietin production in a HIF-dependent manner.	南学正臣	腎臓内分泌内科
J Pharmacol Sci	Epigenetic regulation for hypoxic response via HIF and histone demethylase.	南学正臣	腎臓内分泌内科
Cell Metab	Thiazolidinediones enhance sodium-coupled bicarbonate absorption from renal proximal tubules via PPAR $\alpha$ -dependent non-genomic signaling.	関常司	腎臓内分泌内科
Pflugers Arch	Functional characterization of nonsynonymous single nucleotide polymorphisms in the electrogenic Na <sup>+</sup> -HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> cotransporter NBCe1A.	関常司	腎臓内分泌内科
J Clin Invest	Rac1 GTPase in rodent kidneys is essential for salt-sensitive hypertension via a mineralocorticoid receptor-dependent pathway.	藤田敏郎	腎臓内分泌内科
Nat Med	Epigenetic modulation of the renal $\beta$ -adrenergic-WNK4 pathway in salt-sensitive hypertension.	藤田敏郎	腎臓内分泌内科
Kidney Int	Selective albuminuria via podocyte albumin transport in puromycin nephrotic rats is attenuated by an inhibitor of NADPH oxidase.	藤乗嗣泰	腎臓内分泌内科
Nephrol Dial Transplant	The relative role of fibroblast growth factor 23 and parathyroid hormone in predicting future hypophosphatemia and hypercalcemia after living donor kidney transplantation: a 1-year prospective observational study.	福本誠二	腎臓内分泌内科
J Bone Miner Res	Anti-FGF23 neutralizing antibodies ameliorate muscle weakness and decreased spontaneous movement of Hyp mice.	福本誠二	腎臓内分泌内科
Am J Physiol Cell Physiol	A novel mechanism in maggot debridement therapy: protease in excretion/secretion promotes hepatocyte growth factor production.	野入英世	血液浄化療法部
Nat Genet	Common variation in GPC5 is associated with acquired nephrotic syndrome.	野入英世	血液浄化療法部
Crit Care Med	Evaluation of new acute kidney injury biomarkers in mixed ICU.	野入英世	血液浄化療法部
PLoS Genet	Global mapping of cell type-specific open chromatin by FAIRE-seq reveals the regulatory role of the NFI family in adipocyte differentiation	Waki H, Nakamura M	糖尿病・代謝内科
Cell Metab	Adiponectin enhances insulin sensitivity by increasing hepatic IRS-2 expression via a macrophage-derived IL-6-dependent pathway	Awazawa M	糖尿病・代謝内科
Proc Natl Acad Sci U S A	Blockade of class IB phosphoinositide-3 kinase ameliorates obesity-induced inflammation and insulin resistance	Kobayashi N	糖尿病・代謝内科
J Exp Med.	Evi1 is essential for hematopoietic stem cell self-renewal, and its expression marks hematopoietic cells with long-term multilineage repopulating activity.	片岡圭亮	血液・腫瘍内科
Blood	AML1/RUNX1 functions as a cytoplasmic attenuator of NF- $\kappa$ B signaling in the repression of myeloid tumors.	中川正宏	血液・腫瘍内科

Blood	Loss of AML1/Runx1 accelerates the development of MLL-ENL leukemia through down-regulation of p19ARF.	西本菜穂子	血液・腫瘍内科
Blood	Evi-1 is a transcriptional target of mixed-lineage leukemia oncoproteins in hematopoietic stem cells.	荒井俊也	血液・腫瘍内科
Arthritis Res Ther	Detection of autoantibodies to citrullinated BiP in rheumatoid arthritis patients and pro-inflammatory role of citrullinated BiP in collagen-induced arthritis.	Hirofumi Shoda	アレルギーリウマチ内科
J Biomed Biotechnol	Regulatory T-cell-associated cytokines in systemic lupus erythematosus.	Akiko Okamoto	アレルギーリウマチ内科
Front Immunol	Regulatory T cell-mediated control of autoantibody-induced inflammation.	Keishi Fujio	アレルギーリウマチ内科
PLoS Genet	A genome-wide association study identified AFF1 as a susceptibility locus for systemic lupus erythematosus in Japanese.	藤尾圭志、他	アレルギーリウマチ内科
Rheumatol Int.	Long-term therapeutic effects and safety of tacrolimus added to methotrexate in patients with rheumatoid arthritis.	Kanzaki T.	アレルギーリウマチ内科
Intern Med.	Thrombotic thrombocytopenic purpura with severe hypertension in a patient with systemic sclerosis sine scleroderma and polymyositis.	Iwagami M.	アレルギーリウマチ内科
J Immunol.	High expression of IL-22 suppresses antigen-induced immune responses and eosinophilic airway inflammation via an IL-10-associated mechanism.	Nakagome K.	アレルギーリウマチ内科
Lupus.	Subacute cerebellar ataxia and atrophy developed in a young woman with systemic lupus erythematosus whose cerebrospinal fluid was positive for antineuronal cell antibody.	Iwasaki Y.	アレルギーリウマチ内科
J Immunol.	Dopamine D1-like receptor antagonist attenuates Th17-mediated immune response and ovalbumin antigen-induced neutrophilic airway inflammation.	Nakagome K.	アレルギーリウマチ内科
Geriatr Gerontol Int	Members of JGS Disaster Supportive Center. Actions of the Japan Geriatric Society on the 2011 Off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake: First Report.	Iijima K	老年病科
J Am Geriatr Soc	Pulmonary features associated with being underweight in older men.	Yamaguchi Y	老年病科
Eur Spine J	Single-nucleotide polymorphism in the hyaluronan and proteoglycan link protein 1 (HAPLN1) gene is associated with spinal osteophyte formation and disc degeneration in Japanese women.	Urano T	老年病科
J Clin Endocrinol Metab	GPR98/Gpr98 gene is involved in the regulation of human and mouse bone mineral density.	Urano T	老年病科
Genes Cells	PROX1 suppresses vitamin K-induced transcriptional activity of steroid and xenobiotic receptor.	Azuma K	老年病科
Geriatr Gerontol Int	Association of polypharmacy with fall risk among geriatric outpatients.	Kojima T	老年病科
PLoS ONE	Testosterone deficiency accelerates neuronal and vascular aging of SAMP8 mice: protective role of eNOS and SIRT1.	Ota H	老年病科
BioPsychoSoc Med	Plasma intact fibroblast growth factor 23 levels in women with bulimia nervosa: A cross-sectional pilot study.	Yoshiuchi K, Akabayashi A	心療内科
BioPsychoSoc Med	Does sleep aggravate tension-type headache?: An investigation using computerized ecological momentary assessment and actigraphy.	Yoshiuchi K, Akabayashi A	心療内科
Lancet Oncol	Japan's nuclear crisis.	Yoshiuchi K, Akabayashi A	心療内科

J Pain Symptom Manage	Japanese people's preference for place of end-of-life care and death: a population-based nationwide survey.	Yoshiuchi K	心療内科
Gastroenterology	Tasts for serum levels of trefoil factor family proteins can improve gastric cancer screening.	Aikou S, Seto Y, et al	胃食道外科
Surgery Today	Physiological evaluation of residual stomach motility after local resection in conscious dogs.	Kubota K, Seto Y, et al	胃食道外科
Cancer Sci.	Antitumor effect and pharmacokinetics of intraperitoneal NK105, a nanomicellar paclitaxel formulation for peritoneal dissemination.	Emoto S	大腸肛門外科
Oncology	FOLFOX as adjuvant chemotherapy after curative resection of distant metastases in patients with colorectal cancer.	Nozawa H	大腸肛門外科
Gastric cancer	Frequent development of leptomeningeal carcinomatosis in patients with peritoneal dissemination of gastric cancer.	Emoto S	大腸肛門外科
J Surg Res	CD133(-) cells, derived from a single human colon cancer cell line, are more resistant to 5-fluorouracil (FU) than CD133(+) cells, dependent on the $\beta$ 1-integrin signaling.	Hongo K	大腸肛門外科
Radiat Oncol	Density of CD4(+) and CD8(+) T lymphocytes in biopsy samples can be a predictor of pathological response to chemoradiotherapy (CRT) for rectal cancer.	Yasuda K	大腸肛門外科
Oncol lett	Radiosensitization of human breast cancer cells to ultraviolet light by 5-fluorouracil.	Sasaki K	大腸肛門外科
Cancer Sci.	Intratumoral injection of interleukin-2 augments the local and abscopal effects of radiotherapy in murine rectal cancer.	Yasuda K	大腸肛門外科
Oncology	Phase I study of biweekly intravenous paclitaxel plus intraperitoneal cisplatin and paclitaxel for gastric cancer with peritoneal metastasis.	Ishigami H	大腸肛門外科
BMC cancer	Circulating lymphocyte is an important determinant of the effectiveness of preoperative radiotherapy in advanced rectal cancer.	Kitayama J	大腸肛門外科
Ann Surg Oncol	Loss of sympathetic nerve fibers around intratumoral arterioles reflects malignant potential of gastric cancer.	Miyato H	大腸肛門外科
J surg Res	Vagus nerve preservation selectively restores visceral fat volume in patients with early gastric cancer who underwent gastrectomy.	Miyato H	大腸肛門外科
Cancer Sci.	Spatial distribution of intraperitoneally administered paclitaxel nanoparticles solubilized with poly (2-methacryloxyethyl phosphorylcholine-co n-butyl methacrylate) in peritoneal metastatic nodules.	Kamei T	大腸肛門外科
Immunopharmacol Immunotoxicol	Catechin inhibits adhesion and migration of peripheral blood B cells by blocking CD11b.	Kawai K	大腸肛門外科
Int J Colorectal Dis	Hyperfibrinogenemia after preoperative chemoradiotherapy predicts poor response and poor prognosis in rectal cancer.	Kawai K	大腸肛門外科
癌の臨床	【外科医が行う胃癌化学療法】胃癌腹膜播種に対するパクリタキセル腹腔内投与併用療法	石神浩徳	大腸肛門外科
癌の臨床	【Stage IV胃癌における外科治療の有用性】腹膜播種を伴う胃癌に対する集学的治療	石神浩徳	大腸肛門外科
日本医事新報	【臨床医学の展望2011 診断および治療上の進歩】	北山丈二	大腸肛門外科
Mebio	【炎症性腸疾患の診断と治療をめぐる新展開】炎症性腸疾患に対する外科療法の進歩と課題	秀野泰隆	大腸肛門外科

International Review of Thrombosis	PAD治療におけるATISの評価	宮田哲郎	血管外科
消化器疾患 最新の治療 2011-2012 南江堂 P356-358	肝・胆・膵疾患 転移性肝癌	秦 正二郎、國土典宏	肝胆膵外科
臨床消化器内科 26(4):391-396	2.転移性肝癌の肝切除治療	石沢武彰、長谷川 潔、國土典宏	肝胆膵外科
肝胆膵 62(4):723-728	PCBとその類縁疾患に対する肝移植	山敷宣代、菅原寧彦、國土典宏	肝胆膵外科
外科 73(5)496-500 南江堂 2011	胆嚢造形法	石沢武彰、長谷川 潔、國土典宏	肝胆膵外科
治療 増刊号 2011.4月(93): 879-882	肝がんの治療法はどのようにきまるのでしょうか？	池田真美、長谷川 潔、國土典宏	肝胆膵外科
肝胆膵画像13(3):283-289 医学書院	IPMN浸潤癌体尾部切除後残膵に隣癌が発生した1例	川久保和道、多田 稔、伊佐山浩通、濱田 毅、永野里枝、宮林弘至、毛利大、木暮宏史、佐々木隆、伊藤中紀子、山本夏佳	肝胆膵外科
脾臓 一基礎と臨床一 P. 217-220 ヘルス出版	肝硬変合併肝癌一術前脾摘について	竹村信行、青木 琢、國土典宏	肝胆膵外科
臨床外科 66(5):588-595	肝細胞癌の外科治療に関する臨床試験	長谷川 潔、菅原寧彦、國土典宏	肝胆膵外科
消化器外科 34(6):924-930 ヘルス出版	右肝切除術(S5~S8切除)	青木 琢、國土典宏	肝胆膵外科
Medical Science Digest 37(5) 184-187	臓器移植医療の現状と展望一肝	田村純人、菅原寧彦、國土典宏	肝胆膵外科
外科治療 104 6月増刊:132-137 永井書店	系統的肝亜区域切除術	増田晃一、長谷川 潔、國土典宏	肝胆膵外科
外科治療 104(5):463-469 永井書店	肝癌診療ガイドライン	岸 庸二、長谷川 潔、國土典宏	肝胆膵外科
消化器外科 34(7):1027-1035 ヘルス出版	ガイドラインの解説と検証	長谷川 潔、青木 琢、菅原寧彦、國土典宏	肝胆膵外科
Digestive Surgery DS Now 14 P129-134 メジカルレビュー社	生体肝移植の胆管胆管吻合、胆管空腸吻合の工夫	金子順一、菅原寧彦、長谷川 潔、國土典宏	肝胆膵外科
移植46(2.3)130-134 2011	東大病院における脳死肝移植のレシピエント移植コーディネーターの役割	野尻佳代、菅原寧彦、山敷宣代、田村純人、金子順一、青木 琢、國土典宏	肝胆膵外科
日本臨床外科 72(6):153-156	蛍光胆道造影を利用して単孔式腹腔鏡下胆摘術を施工した右側肝円索の1例	廣吉淳子、石沢武彰、進藤潤一、金子順一、長谷川 潔、國土典宏	肝胆膵外科
外科 73(7)731-735 南江堂 2011	肝機能低下状態における栄養管理	金子順一、長谷川 潔、國土典宏	肝胆膵外科
外科 73(8)844-850 南江堂 2011	神経内分泌腫瘍(NET)肝転移に対する治療	青木 琢、國土典宏	肝胆膵外科
クリニシアン 2011.8月号 No 601 Vol58:112-117(エーザイ(株)発行雑誌)	肝臓特集 アジアにおける肝疾患の診療実態(外科)	青木 琢、國土典宏	肝胆膵外科
消化器外科NURSING 2011 Vol 16 no 11 P10-16 メディカ出版	原発性肝癌取り扱い規約・ガイドラインに基づいた治療	長谷川 潔、國土典宏	肝胆膵外科



消化器外科NURSING 2011 Vol 16 no 11 P26-31 メディカ出版	肝区域切除	阪本良弘、長谷川 深、國土典宏	肝胆膵外科
消化器外科NURSING 2011 Vol 16 no 11 P47-54 メディカ出版	全身化学療法	井上陽介、長谷川 深、國土典宏	肝胆膵外科
消化器外科NURSING 2011 Vol 16 no 11 P55-63 メディカ出版	食道・胃静脈瘤合併肝がんの治療	金子順一、長谷川 深、國土典宏	肝胆膵外科
外科 73(11)1147-1154 南江堂 2011	レシピエント移植コーディネーターの役割	野尻佳代、菅原寧彦、山敷宣代、田村純人、青木琢、國土典宏	肝胆膵外科
外科 73(11)1155-1159 南江堂 2011	移植内科医の役割	山敷宣代、菅原寧彦、小池和彦、國土典宏	肝胆膵外科
胆と膵 32(9):893-898 2011	術後補助療法としての自己 $\gamma$ T細胞免疫治療	青木 琢、垣見和宏、國土典宏	肝胆膵外科
臨床消化器内科 26(13):1769-1775	肝内胆管癌—Topics(1)胆管細胞癌	阪本良弘、山下 俊、青木琢、長谷川 深、菅原寧彦、國土典宏	肝胆膵外科
手術 65(10):1523-1530	IV 血管合併切除再建 2.肝静脈再建を伴う肝切除	青木 琢 三瀬祥弘、長谷川 深、國土典宏	肝胆膵外科
外科治療 105(6):530-537 永井書店	安全に腹腔鏡下肝切除を行う工夫	長谷川 深、金子順一、井上陽介、河口義邦、菅原寧彦、國土典宏	肝胆膵外科
外科 73(12)1373-1377 南江堂 2011	4.肝腎症候群	金子順一、國土典宏	肝胆膵外科
外科治療 105(5):453-560 永井書店	小肝癌の治療—手術 VS RFA	井上陽介、長谷川 深、國土典宏	肝胆膵外科
移植 46(6)465-474 2011	改正脳死法実施後1年を経過して	田村純人、山敷宣代、野尻佳代、金子順一、菅原寧彦、國土典宏	肝胆膵外科
Hepatocellular Carcinoma (Springer) 89-97	Evidence-Based Guidelines for Treatment of Hepatocellular Carcinoma in Japan	kiyoshi Hasegawa, Norihiro Kokudo	肝胆膵外科
Clin Gastroenterol Hepatol 9(2):e14-5	Asymptomatic dilatation of the intrahepatic biliary tree due to thrombosed pericholedochal varices (portal biliopathy).	Shindoh J, Hasegawa K, Kokudo N.	肝胆膵外科
American Journal of Surgery. ;201:203-208	Intrahepatic cholangiocarcinoma:analysis of 44 consecutive resected cases including 5 cases with repeat resections	Akio Saira , Junji Yamamoto, Norihiro Kokudo, Rintaro Koga, Makoto Seki, Naoki Hiki, Kenjiro Yamada, Takashi	肝胆膵外科
Clin Gastroenterol Hepatol. 2011 9(2)-e14-5.	Asymptomatic dilatation of the intrahepatic biliary tree due to thrombosed pericholedochal varices (portal biliopathy).	Shindoh J, Hasegawa K, Kokudo N.	肝胆膵外科
Liver Int. 2011 Jan;31(1):22-35	Clinical and molecular insights into the hepatocellular carcinoma tumour marker des- $\gamma$ -carboxyprothrombin.	Inagaki Y, Tang W, Makuuchi M, Hasegawa K, Sugawara Y, Kokudo N	肝胆膵外科
Anticancer Research 31:535-542	Sustained Aberrant Localization of KL-6 Mucin and $\beta$ -Catenin at the Invasion Front of Human Gastric cancer Cells	Yoshinori Inagaki,Wei Tang, Huanli Xu,Munehiro Nakata, Kenichi Mafune, Toshiro Konishi, Yasuyuki	肝胆膵外科
Int Immunopharmacol. 2011 Mar;11(3):342-9.	Antitumor activity of extracts and compounds from the skin of the toad Bufo bufo gargarizans Cantor.	Qi F, Li A, Inagaki Y, Kokudo N, Tamura S, Nakata M, Tang W.	肝胆膵外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2011 Mar;18(2):263-7	Donor quality of life after living donor liver transplantation: a prospective study.	Togashi J, Sugawara Y, Tamura S, Yamashiki N, Kaneko J, Aoki T, Hasegawa K, Beck Y, Makuuchi M, Kokudo N.	肝胆膵外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2011 Mar;18(2):184-9.	Cost analysis of adult-adult living donor liver transplantation in Tokyo University Hospital	Sakata H, Tamura S, Sugawara Y, Kokudo N.	肝胆膵外科

World J Gastrointest Surg. 2011 Feb 27;3(2):21-8.	Liver transplantation in HCV/HIV positive patients.	Sugawara Y, Tamura S, Kokudo N.	肝胆腸外科
Eur J Radiol. 2011 Feb;77(2):325-9.	MR imaging of the biliary tract with Gd-EOB-DTPA: Effect of liver function on signal intensity.	Takao H, Akai H, Tajima T, Kiryu S, Watanabe Y, Imamura H, Akahane M, Yoshioka N, Kokudo N, Ohtsuka Y.	肝胆腸外科
Life Sci. 2011;1063-1069	Expression of KL-6/MUC1 in pancreatic ductal carcinoma and its potential relationship with $\beta$ -catenin in tumor progression.	Xu H, Inagaki Y, Seyama Y, Hasegawa K, Sugawara Y, Du G, Wang F, Tang W, Kokudo N.	肝胆腸外科
Cancer Science. 2011 May;102(5):951-8.	Bufalin and cinobufagin induce apoptosis of human hepatocellular carcinoma cells via Fas- and mitochondria-mediated pathways.	Qi F, Inagaki Y, Gao B, Cui X, Xu H, Kokudo N, Li A, Tang W.	肝胆腸外科
Journal of Gastrointestinal Surgery. 2011 Jun;15(6):988-95	Significance of liver hanging maneuvers for invasive liver lesions in no-routine anterior approach policy.	Shindoh J, Hasegawa K, Aoki T, Beck Y, Sugawara Y, Makuuchi M, Kokudo N.	肝胆腸外科
Eur J Cancer. 2011 May;47(7):1115-24	Des- $\gamma$ -carboxyl prothrombin induces matrix metalloproteinase activity in hepatocellular carcinoma cells by involving the ERK1/2 MAPK signalling pathway.	Yue P, Gao ZH, Xue X, Cui SX, Zhao CR, Yuan Y, Yin Z, Inagaki Y, Kokudo N, Tang W, Qu XJ.	肝胆腸外科
Oncol Rep. 2011 26:371-376	Expression of KL-6/MUC1 in pancreatic cancer tissues and its potential involvement in tumor metastasis.	Xu H, Inagaki Y, Seyama Y, Du G, Wang F, Kokudo N, Tang W.	肝胆腸外科
Biosci Trends. 2011 Apr;5(2):52-6.	Effect of c-Met inhibitor SU11274 on hepatocellular carcinoma cell growth.	Inagaki Y, Qi FH, Gao JJ, Qu XJ, Hasegawa K, Sugawara Y, Tang W, Kokudo N.	肝胆腸外科
Drug Discoveries & Therapeutics 5(2):60 2011	The road cancer control	Norihiro Kokudo	肝胆腸外科
Clin j gastroenterol 4:167-173 2011	Intrahepatic cholangiocellular carcinoma and Hepatocellular carcinoma developed after a 6-year sustained virological response to interferon therapy for chronic hepatitis C	Shinji Takashimizu, Sei-ichiro Kojima, Junko Nagata, Yasuhiro Nishizawa, Tatehiro Kato.	肝胆腸外科
International Journal of Hepatology	Hepatocellular Carcinoma: Current Management and Future Development—Improved Outcomes with Surgical Resection	Yoji Kishi, Kiyoshi Hasegawa, Yasuhiko Sugawara, and Norihiro Kokudo	肝胆腸外科
Surg Endosc. 2011 Aug;25(8):2631-6	Application of fluorescent cholangiography to single-incision laparoscopic cholecystectomy.	Ishizawa T, Kaneko J, Inoue Y, Takemura N, Seyama Y, Aoki T, Beck Y, Sugawara Y, Hasegawa K, Makuuchi M, Kokudo N.	肝胆腸外科
AJR Am J Roentgenol. 2011 Jun;196(6):1314-21	Correlation between contrast-enhanced intraoperative ultrasound using Sonazoid and histologic grade of resected hepatocellular carcinoma.	Arita J, Hasegawa K, Takahashi M, Hata S, Shindoh J, Sugawara Y, Kokudo N.	肝胆腸外科
Transplantation. 2011 Jun 15;91(11):1261-4.	Living Donor Liver Transplantations in HIV- and Hepatitis C Virus-Coinfected Hemophiliacs: Experience in a Single Center	Tsukada K, Sugawara Y, Kaneko J, Tamura S, Tachikawa N, Morisawa Y, Okugawa S, Kikuchi Y, Oka S, Goto S, Yamami Y.	肝胆腸外科
Hepatol Int. 2011 Jun;5(2):716-21	Caffeoyl pyrrolidine derivative LY52 inhibits hepatocellular carcinoma invasion via suppressing matrix metalloproteinase-2.	Zhao X, Xu H, Inagaki Y, Kokudo N, Xu W, Dong J, Tang W.	肝胆腸外科
Journal of the American College of Surgeons. 2011 Jun;212(6):e33-9	Hepatobiliary surgery guided by a novel fluorescent imaging technique for visualizing hepatic arteries, bile ducts, and liver cancers on color images.	Kawaguchi Y, Ishizawa T, Masuda K, Sato S, Kaneko J, Aoki T, Beck Y, Sugawara Y, Hasegawa K, Makuuchi M, Kokudo N.	肝胆腸外科
Surgery. 2011 Jun;149(6):841-5.	Single artery reconstruction in left liver transplantation	Sugawara Y, Tamura S, Kaneko J, Iida T, Mihara M, Makuuchi M, Koshima I, Kokudo N.	肝胆腸外科
Biosci Trends. 2011 Apr;5(2):57-60.	Basiliximab as therapy for acute rejection after liver transplantation for hepatitis C virus cirrhosis.	Togashi J, Sugawara Y, Tamura S, Kaneko J, Yamashiki N, Aoki T, Hasegawa K, Kokudo N.	肝胆腸外科
American Journal of Surgery. 2011 Feb;201(2):203-8	Intrahepatic cholangiocarcinoma: analysis of 44 consecutive resected cases including 5 cases with repeat resections.	Saiura A, Yamamoto J, Kokudo N, Koga R, Seki M, Hiki N, Yamada K, Natori T, Yamaguchi T.	肝胆腸外科
Surg Today. 2011 Sep;41(9):1294-7	Resection of lung metastases from hepatocellular carcinoma after living donor liver transplantation: Report of two cases.	Togashi J, Sugawara Y, Aoki T, Tamura S, Kaneko J, Nakajima J, Sano A, Kokudo N.	肝胆腸外科
Journal of Gastrointestinal Surgery. 2011 Sep;15(9):1594-601	Convergence process of volumetric liver regeneration after living-donor hepatectomy.	Aoki T, Imamura H, Matsuyama Y, Kishi Y, Kobayashi T, Sugawara Y, Makuuchi M, Kokudo N.	肝胆腸外科

Hepatology 2011 1273-1281	Oxidative Stress Pathways in Noncancerous Human Liver Tissue to Predict Hepatocellular Carcinoma Recurrence: A Prospective, Multicenter Study	Shinji Tanaka,1* Kaoru Mogushi,2* Mahmut Yasesen,2 Daisuke Ban,1 Norio Noguchi,1 Takumi	肝胆臓外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2011 May;18(3):443-52.	Impact of nodal involvement on surgical outcomes of intrahepatic cholangiocarcinoma: a multicenter analysis by the Study Group for Hepatic Surgery of the Japanese Society of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery.	Uchiyama K, Yamamoto M, Yamaue H, Arizumi S, Aoki T, Kokudo N, Ebata T, Nagino M, Ohtsuka M,	肝胆臓外科
Drug Discoveries & Therapeutics 5(5):202-210 2011	Targeting apoptosis pathways in cancer with magnolol and honokiol, bioactive constituents of the bark of Magnolia officinalis	Huanli Xu · Wei Tang Guanhua Du Norihiro Kokudo	肝胆臓外科
Hepatology Research 2011; 41: 1208-1215	Demonstration of quality of care measurement using the Japanese liver cancer registry	Takahiro Higashi,1 Kiyoshi Hasegawa,2,13 Norihiro Kokudo,2,13 Masatoshi Makuuchi,3,13	肝胆臓外科
Journal of Digestive Diseases 12:481-488	Des-gamma-carboxy prothrombin in patients with hepatocellular carcinoma and liver cirrhosis	Yoshihiro Inagaki Huan Li XU, Koyoshi Hasegawa, Taku Aoki, Yoshifumi Beck, Yasuhiko Sugawara, Wwi	肝胆臓外科
World J Surg. 2011 Oct;35(10):2356-7	Should we promote "increasing donor body weight to prevent small-for-size syndrome in living donor liver transplantation"?	Tamura S, Sugawara Y, Kokudo N.	肝胆臓外科
Hepatology Research. 2011 Dec;41(12):1199-207	Diagnostic accuracy of $\alpha$ -fetoprotein and des- $\gamma$ -carboxy prothrombin in screening for hepatocellular carcinoma in liver transplant candidates.	Yamashiki N, Sugawara Y, Tamura S, Kaneko J, Yoshida H, Aoki T, Hasegawa K, Akahane M,	肝胆臓外科
Pharmacol Res. 65:23-30 2011	Targeting c-Met as a promising strategy for the treatment of hepatocellular carcinoma.	Gao J, Inagaki Y, Song P, Qi X, Kokudo N, Tang W.	肝胆臓外科
Oncology. 2011;81 Suppl 1:111-5.	Living donor liver transplantation for hepatocellular carcinoma: the Japanese experience.	Tamura S, Sugawara Y, Kokudo N	肝胆臓外科
Langenbecks Arch Surg. 2011 Oct;396(7):1093-100.	Repeat treatment for recurrent hepatocellular carcinoma: is it validated?	Kishi Y, Saiura A, Yamamoto J, Koga R, Seki M, Morimura R, Yoshioka R, Kokudo N, Yamaguchi T	肝胆臓外科
World J Surg. 2011 Dec;35(12):2779-87.	Value of visual inspection, bimanual palpation, and intraoperative ultrasonography during hepatic resection for liver metastases of colorectal carcinoma.	Hata S, Imamura H, Aoki T, Hashimoto T, Akahane M, Hasegawa K, Bekku Y, Sugawara Y, Makuuchi M,	肝胆臓外科
Annals of Surgery. 2011 Dec;254(6):992-9.	Usefulness of contrast-enhanced intraoperative ultrasound using Sonazoid in patients with hepatocellular carcinoma.	Arita J, Takahashi M, Hata S, Shindoh J, Beck Y, Sugawara Y, Hasegawa K, Kokudo N.	肝胆臓外科
British Journal of Surgery . 2011 Dec;98(12):1742-51	Venous reconstruction based on virtual liver resection to avoid congestion in the liver remnant.	Mise Y, Hasegawa K, Satou S, Aoki T, Beck Y, Sugawara Y, Makuuchi M, Kokudo N.	肝胆臓外科
Hepato Res. 2011 Dec;41(12):1208-1215	Demonstration of quality of care measurement using the Japanese liver cancer registry.	Higashi T, Hasegawa K, Kokudo N, Makuuchi M, Izumi N, Ichida T, Kudo M, Ku Y, Sakamoto M,	肝胆臓外科
World J Surg. 2011 Dec;35(12):2779-87.	Value of visual inspection, bimanual palpation, and intraoperative ultrasonography during hepatic resection for liver metastases of colorectal carcinoma.	Hata S, Imamura H, Aoki T, Hashimoto T, Akahane M, Hasegawa K, Bekku Y, Sugawara Y, Makuuchi M,	肝胆臓外科
Br J Surg. 2011 Dec;98(12):1742-51.	Venous reconstruction based on virtual liver resection to avoid congestion in the liver remnant.	Mise Y, Hasegawa K, Satou S, Aoki T, Beck Y, Sugawara Y, Makuuchi M, Kokudo N	肝胆臓外科
Hepato Res. 2011 Dec;41(12):1208-1215.	the Liver Cancer Study Group of Japan. Demonstration of quality of care measurement using the Japanese liver cancer registry.	Higashi T, Hasegawa K, Kokudo N, Makuuchi M, Izumi N, Ichida T, Kudo M, Ku Y, Sakamoto M,	肝胆臓外科
Hepato Res. 2011 Dec;41(12):1199-207.	Diagnostic accuracy of $\alpha$ -fetoprotein and des- $\gamma$ -carboxy prothrombin in screening for hepatocellular carcinoma in liver transplant candidates.	Yamashiki N, Sugawara Y, Tamura S, Kaneko J, Yoshida H, Aoki T, Hasegawa K, Akahane M,	肝胆臓外科
J Dig Dis. 2011 Dec;12(6):481-8.	Des-gamma-carboxyprothrombin in patients with hepatocellular carcinoma and liver cirrhosis.	Inagaki Y, Xu HL, Hasegawa K, Aoki T, Beck Y, Sugawara Y, Tang W, Kokudo N.	肝胆臓外科
World J Surg. 2011 Dec;35(12):2779-87.	Value of visual inspection, bimanual palpation, and intraoperative ultrasonography during hepatic resection for liver metastases of colorectal carcinoma.	Hata S, Imamura H, Aoki T, Hashimoto T, Akahane M, Hasegawa K, Bekku Y, Sugawara Y, Makuuchi M,	肝胆臓外科
Eur J Radiol. 2011 Nov;80(2):310-5.	Detection of hepatocellular carcinoma by Gd-EOB-DTPA-enhanced liver MRI: comparison with triple phase 64 detector row helical CT	Akai H, Kiryu S, Matsuda I, Satou J, Takao H, Tajima T, Watanabe Y, Imamura H, Kokudo N, Akahane M,	肝胆臓外科

Transplantation. 2011 Oct 15;92(7):809-14.	Outcome of liver transplantation for recipients with hepatitis B and hepatitis C virus coinfection: analysis of the UNOS data.	Waki K, Sugawara Y, Tamura S, Mieno MN, Yamashiki N, Kadowaki T, Kokudo N.	肝胆臓外科
J Histochem Cytochem. 2011 Oct;59(10):942-52.	Claudin-18 is an early-stage marker of pancreatic carcinogenesis.	Tanaka M, Shibahara J, Fukushima N, Shinozaki A, Umeda M, Ishikawa S, Kokudo N, Fukayama M	肝胆臓外科
World J Surg. 2011 Oct;35(10):2356-7	Should we promote "increasing donor body weight to prevent small-for-size syndrome in living donor liver transplantation"?	Tamura S, Sugawara Y, Kokudo N.	肝胆臓外科
Biosci Trends. 2011 Aug;5(4):156-8.	Once-daily tacrolimus in living donor liver transplant recipients.	Sugawara Y, Miyata Y, Kaneko J, Tamura S, Aoki T, Sakamoto Y, Hasegawa K, Yamashiki N, Kokudo N	肝胆臓外科
J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2011 Jul;18(4):586-91.	Discrepancy between estimated and actual weight of partial liver graft from living donors.	Satou S, Sugawara Y, Tamura S, Yamashiki N, Kaneko J, Aoki T, Hasegawa K, Beck Y, Matsui M, Kokudo N	肝胆臓外科
Eur J Cancer. 2011 May;47(7):1115-24.	Des- $\gamma$ -carboxyl prothrombin induces matrix metalloproteinase activity in hepatocellular carcinoma cells by involving the ERK1/2 MAPK signalling pathway.	Yue P, Gao ZH, Xue X, Cui SX, Zhao CR, Yuan Y, Yin Z, Inagaki Y, Kokudo N, Tang W, Qu XJ.	肝胆臓外科
Int Immunopharmacol. 2011 Mar;11(3):342-9.	Antitumor activity of extracts and compounds from the skin of the toad Bufo bufo gargarizans Cantor	Qi F, Li A, Inagaki Y, Kokudo N, Tamura S, Nakata M, Tang W	肝胆臓外科
Biosci Trends. 2011;5(5):217-22.	Oral valganciclovir versus intravenous ganciclovir as preemptive treatment for cytomegalovirus infection after living donor liver transplantation: a randomized trial	Togashi J, Sugawara Y, Hashimoto M, Tamura S, Kaneko J, Aoki T, Hasegawa K, Kokudo N	肝胆臓外科
Dig Dis. 2011;29(3):339-64.	HCC Expert Panel of Japan Society of Hepatology. Management of hepatocellular carcinoma in Japan: Consensus-Based Clinical Practice Guidelines proposed by the Japan Society of Hepatology (JSH) 2010 updated version.	Kudo M, Izumi N, Kokudo N, Matsui O, Sakamoto M, Nakashima O, Kojiro M, Makuuchi M;	肝胆臓外科
Oncology. 2011;81 Suppl 1:111-5.	Living donor liver transplantation for hepatocellular carcinoma: the Japanese experience.	Tamura S, Sugawara Y, Kokudo N	肝胆臓外科
Langenbecks Arch Surg. 2011 Oct;396(7):1093-100.	Repeat treatment for recurrent hepatocellular carcinoma: is it validated?	Kishi Y, Saiura A, Yamamoto J, Koga R, Seki M, Morimura R, Yoshioka R, Kokudo N	肝胆臓外科
Annals of Vascular Disease	Enhanced neovascular formation in a novel hydrogel matrix consisting of citric acid and collagen	Nagayoshi M	血管外科
Gene Therapy	Impact of polyplex micelles installed with cyclic RGD peptide as ligand on gene delivery to vascular lesions	Kagaya H	血管外科
J Biomater Sci Polym Ed	Calcium-cross-linked hydropgel based on alginate-modified atelocollagen functions as a scaffold materials	Kamimura W	血管外科
J Robot Mech	A force measurement device using optical fiber for surgical tools -Basic concept and implementation	Taniguchi K	心臓外科
Circ J	Prevalence of Vitreous Hemorrhage Following Coronary Revascularization in Patients With Diabetic Retinopathy	Kawashima D	心臓外科
Int Heart J	Mechanism of pressure-overload right ventricular hypertrophy in infant rabbits	Minegishi S	心臓外科
Circ J	What should we do for appropriate dissemination of implantable ventricular assist device treatment?	Ono M	心臓外科
J Artif Organ	What is the ideal off-test trial for continuous-flow ventricular-assist- device explantation? Intracircuit back-flow analysis in a mock circulation model	Ando M	心臓外科
J Artif Organ	Use of DuraHeart support for more than 1 year as the first successful bridge to heart transplantation in Japan	Kurihara C	心臓外科
J Artif Organ	Negative pressure wound therapy for left ventricular assist device-related mediastinitis: two case reports	Kawata M	心臓外科

J Artif Organ	Successful treatment of mediastinitis after ventricular assist device implantation with rerouting of the outflow vascular prosthesis	Kurihara C	心臟外科
J Artif Organs	Successful bridge to recovery with VAD implantation for anthracycline-induced cardiomyopathy	Kurihara C	心臟外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg	Age-specific risk stratification in 13488 isolated coronary artery bypass grafting procedures	Saito A	心臟外科
J Artif Organ	A novel counterpulsation mode of rotary left ventricular assist devices can enhance myocardial perfusion	Ando M	心臟外科
J Artif Organ	A novel counterpulse drive mode of continuous-flow left ventricular assist devices can minimize intracircuit backward flow during pump weaning	Ando M	心臟外科
J Artif Organ	Left ventricular assist device support with a centrifugal pump for 2 months in a 5-kg child	Inoue T	心臟外科
J Artif Organ	Prolonged biventricular assist device support as a bridge to heart transplantation	Kurihara C	心臟外科
J Heart Fail	New era of ventricular assist device treatment for adults and children	Ono M	心臟外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg	Vascular antispastic medication should take priority over other antihypertensives after coronary artery bypass grafting using a radial artery conduit	Kitamura T	心臟外科
Artif Organs	Results of animal experiments with the fourth model of the undulation pump total artificial heart.	Abe Y	心臟外科
Appl Radiat Isot	Feasibility evaluation of neutron capture therapy for hepatocellular carcinoma using selective enhancement of boron accumulation in tumour with intra-arterial administration of boron-entrapped water-in-oil-in-water emulsion	Yanagie H	心臟外科
Artif Organs	Electrocardiogram-synchronized rotational speed change mode in rotary pumps could improve pulsatility	Ando M	心臟外科
ASAIO J	Left ventricular mechanical support with Impella provides more ventricular unloading in heart failure than extracorporeal membrane oxygenation.	Kawashima D	心臟外科
Low Temp Med	Glycan profiling using a lectin microarray is a novel validation tool for monitoring the damage of freeze-thawed cells	Itakura Y	心臟外科
Int J Comput Assist Radiol Surg	Image-based electrode array tracking for epicardial electrophysiological mapping in minimally invasive arrhythmia surgery	Kim H	心臟外科
Eur J Cardiothorac Surg	Survival after extended thymectomy for thymoma.	Sakamoto M	呼吸器外科
Cancer Sci	CpG island methylation of microRNAs is associated with tumor size and recurrence of non-small-cell lung cancer.	Kitano K	呼吸器外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg	Lung lobectomy in a patient with an implantable left ventricular assist device.	Murakawa T	呼吸器外科
Eur J Cardiothorac Surg	Outcome and survival analysis of pulmonary metastasectomy for hepatocellular carcinoma.	Kitano K	呼吸器外科
Ann Thorac Surg	Resection of a posterior mediastinal metastasis of colon cancer.	Sano A	呼吸器外科
Surg Today	$\gamma$ $\delta$ T-cell immunotherapy for lung cancer.	Yoshida Y	呼吸器外科

Interact Cardio Thorac Surg	Preoperative localization of small peripheral pulmonary nodules by percutaneous marking under computed tomography guidance.	Yoshida Y	呼吸器外科
Thorac Cardiovasc Surg.	Erosion bleeding as a late complication of chest wall reconstruction with a Dacron mesh silicone prosthesis.	Sano A	呼吸器外科
Interact Cardio Thorac Surg	Preoperative localization of small peripheral pulmonary nodules by percutaneous marking under computed tomography guidance.	Yoshida Y	呼吸器外科
Appl Radiat Isot	Feasibility evaluation of neutron capture therapy for hepatocellular carcinoma using selective enhancement of boron accumulation in tumour with intra-arterial administration of boron-entrapped water-in-oil-in-water emulsion.	Yanagie H, Nakajima J	大学院工学系研究科、呼吸器外科
Int J Cancer	A phase I study of vaccination with NY-ESO-1 peptide mixed with Picibanil OK-432 and Montanide ISA-51 in patients with cancers expressing the NY-ESO-1 antigen.	Kakimi K, Nakajima J	免疫細胞治療学(メディネット)、呼吸器外科
J Biol Chem	Glioma-initiating cells retain their tumorigenicity through integration of the Sox axis and Oct4 protein.	斉藤延人	脳神経外科
EMBO J	Nitric oxide-induced calcium release via ryanodine receptors regulates neuronal function.	斉藤延人	脳神経外科
Neurosurgery	Impact of multiorgan fusion imaging and interactive three-dimensional visualization for intraventricular neuroendoscopic surgery.	金太一	脳神経外科
Cancer	Extended field stereotactic radiosurgery for recurrent glioblastoma.	斉藤延人	脳神経外科
J Exp Med	Guanylate binding protein-1 is a novel effector of EGFR-driven invasion in glioblastoma.	武笠晃丈	脳神経外科
Br J Neurosurg	Refined analysis of complex language representation by non-invasive neuroimaging techniques.	斉藤延人	脳神経外科
Proc Natl Acad Sci U S A	A homozygously deleted gene DACH1 regulates tumor-initiating activity of glioma cells.	斉藤延人	脳神経外科
Acta Neurochir	Contribution of technological progress, inter-operator difference and experience of operators in gamma knife radiosurgery for arteriovenous malformation.	斉藤延人	脳神経外科
Neurosurgery	A detailed analysis of functional magnetic resonance imaging in the frontal language area: a comparative study with extraoperative electrocortical stimulation.	川合謙介	脳神経外科
J Biomed Biotechnol	Novel concept of motor functional analysis for spinal cord injury in adult mice.	斉藤延人	脳神経外科
福祉介護機器Technoプラス	難治性疼痛に対する上肢パワーアシストシステムを用いたリハビリテーション訓練-幻肢痛に対する神経リハビリテーションの有用性とその応用開発	住谷昌彦	麻酔科
ペインクリニック	講座:ミラーニューロンの基礎と疼痛治療への応用:鏡療法と認知神経科学ロボティクス	住谷昌彦	麻酔科
麻酔	幻肢痛の発症における大脳運動野の関与	住谷昌彦	麻酔科
J Urol	Prognostic factors for renal cell carcinoma with bone metastasis: who are the long-term survivors?	Kume H	泌尿器科・男性科
J Urol	Impact of hospital volume and laser use on postoperative complications and in-hospital mortality in cases of benign prostate hyperplasia	Sugihara T	泌尿器科・男性科
Urology	Assessment of overactive bladder symptoms: comparison of 3-day bladder diary and the overactive bladder symptoms score	Homma Y	泌尿器科・男性科

Int J Urol	Japanese Urological Association. Outline of JUA clinical guidelines for benign prostatic hyperplasia	Homma Y	泌尿器科・男性科
Int J Urol	Core lower urinary tract symptom score (CLSS) for the assessment of female lower urinary tract symptoms: a comparative study	Fujimura T	泌尿器科・男性科
Int J Urol	Reassessment of the UICC revision of T3 renal cell carcinomas in a Japanese institute	Nagata M	泌尿器科・男性科
Int J Urol	Higher transfusion rate in bipolar transurethral resection of the prostate: Is it real?	Sugihara T	泌尿器科・男性科
Int Urol Nephrol	Docetaxel as a vital option for corticosteroid-refractory prostate cancer	Kume H	泌尿器科・男性科
Perit Dial Int	Peritoneal fixation prevents dislocation of Tenckhoff catheter	Kume H	泌尿器科・男性科
Prostate cancer prostatic dis	Lower incidence of inguinal hernia after radical prostatectomy using open gasless endoscopic single-site surgery	Fukuhara H	泌尿器科・男性科
Clin Exp Nephrol	Renal preservation effect of ubiquinol, the reduced form of coenzyme Q10	Ishikawa A	泌尿器科・男性科
Int Braz J Urol	Beneficial effect of ubiquinol, the reduced form of coenzyme Q10, on cyclosporine nephrotoxicity	Ishikawa A	泌尿器科・男性科
Int J Endocrinol Metab	17 $\beta$ -estradiol-mediated elevation of peripheral white blood cell count observed during estramustine phosphate therapy for prostate cancer	Suzuki M	泌尿器科・男性科
日本泌尿器科学会雑誌	小切開前立腺全摘除術における術中出血量の検討—BMI, 前立腺体積との関係—	山田雄太	泌尿器科・男性科
泌尿器外科	根治的前立腺摘除術を施行したリンパ節転移陽性前立腺癌症例の検討	佐藤ゆずり	泌尿器科・男性科
日本ミニマム創泌尿器内視鏡外科学会誌	ミニマム創内視鏡下前立腺全摘除術による術後鼠径ヘルニア発生率低下についての検討	福原 浩	泌尿器科・男性科
Endocrinology	Toll-like receptor-3 ligation-induced indoleamine 2, 3-dioxygenase expression in human trophoblasts.	Wang B	女性診療科・産科
Fertil Steril	Activin-A is induced by interleukin-1beta and tumor necrosis factor-alpha and enhances the mRNA expression of interleukin-6 and protease-activated receptor-2 and proliferation of stromal cells from endometrioma.	吉野 修	女性診療科・産科
Fertil Steril	Interleukin-17F increases the secretion of interleukin-8 and the expression of cyclooxygenase 2 in endometriosis.	平田 哲也	女性診療科・産科
Hum Reprod	TGF-beta1 induces proteinase-activated receptor 2 (PAR2) expression in endometriotic stromal cells and stimulates PAR2 activation-induced secretion of IL-6.	齋藤 亜子	女性診療科・産科
Fertil Steril	Myomectomy reduces endometrial T2 relaxation times.	吉野 修	女性診療科・産科
Gynecol Endocrinol	Dienogest, a new conservative strategy for extragenital endometriosis: a pilot study.	原田 美由紀	女性診療科・産科
Am J Reprod Immunol	Bone morphogenetic protein-2 (BMP-2) increases gene expression of FSH receptor and aromatase and decreases gene expression of LH receptor and StAR in human granulosa cells.	Shi J	女性診療科・産科
Am J Reprod Immunol	Lymphocytes in endometriosis.	大須賀 稔	女性診療科・産科

Fertil Steril	Successful management of a ruptured endometrial cyst in acute leukemia.	田口 歩	女性診療科・産科
Gynecol Endocrinol	Sessile polyps and pedunculated polyps respond differently to oral contraceptives.	平池 修	女性診療科・産科
Am J Reprod Immunol	Characterization of gut-derived intraepithelial lymphocyte (IEL) residing in human papillomavirus (HPV)-infected intraepithelial neoplastic lesions.	小島 聡子	女性外科
Med Oncol	Aromatase inhibitor anastrozole as a second-line hormonal treatment to a recurrent low-grade endometrial stromal sarcoma: a case report.	庄司 恵子	女性外科
Br J Cancer	Multifunctional transcription factor TFII-I is an activator of BRCA1 function.	谷川 道洋	女性外科
J Obstet Gynaecol Res	Prediction model for the incidence of emergent cesarean section during induction of labor specialized in nulliparous low-risk women.	磯野 渉	女性診療科・産科
Am J Reprod Immunol	High mobility group box 1 (HMGB1) levels in the placenta and in serum in preeclampsia.	Wang B	女性診療科・産科
Ann Rheum Dis	Altered dynamics of TGF- $\beta$ receptors in scleroderma fibroblasts	Asano Y	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Arch Dermatol Res	Serum CCL23 levels are increased in patients with systemic sclerosis	Yanaba K	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Am J Pathol	IL-10-producing regulatory B10 cells inhibit intestinal injury in a mouse model	Yanaba K	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Clin Rheumatol	Serum IL-33 levels are raised in patients with systemic sclerosis: association with extent of skin sclerosis and severity of pulmonary fibrosis	Yanaba K	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Dermatol Sci	Semaphorin 7A on keratinocytes induces Interleukin-8 production by monocytes	Kamata M	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Cancer Res	CCL11-CCR3 interactions promote survival of anaplastic large cell lymphoma cells via ERK1/2 activation	Miyagaki T	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Eur J Dermatol	Ectopic hidradenoma papilliferum on the abdomen	Morimura S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Eur Acad Dermatol Venereol	Urticarial vasculitis presenting as erythema gyratum repens-like eruption	Noda S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Clin Exp Dermatol	Hyperviscosity syndrome associated with systemic plasmacytosis	Noda S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Clin Exp Dermatol	Unusual skin involvements in eosinophilic fasciitis	Noda S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Eur J Dermatol	Lupus vulgaris: residual granulomatous reaction after antituberculous treatment	Noda S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Arch Dermatol	Severe livedoid vasculopathy associated with anti-phosphatidylserine-prothrombin complex antibody successfully treated with warfarin	Noda S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Acta Derm Venereol	Zosteriform venous malformations with an atypical presentation	Noda S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Br J Dermatol	Adiponectin as an anti-inflammatory factor in the pathogenesis of psoriasis: induction of elevated serum adiponectin levels following therapy	Shibata S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科



J Dermatol Sci	Kaposi's sarcoma and human dermal microvascular endothelial cells infected with Kaposi's sarcoma-associated herpesvirus, express CCL21	Sugaya M	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Acta Derm Venereol	Ultraviolet light-induced Köbner phenomenon contributes to the development of skin eruptions in multicentric reticulohistiocytosis	Taniguchi T	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Mod Rheumatol	Disseminated cutaneous and visceral Kaposi's sarcoma in a patient with rheumatoid arthritis receiving corticosteroids and tacrolimus	Taniguchi T	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Dermatol	Systemic sclerosis with an unusual rapid development of huge calcinosis (tumoral calcinosis)	Aozasa N	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Am Acad Dermatol	Bosentan: a novel therapy for leg ulcerations in Werner's syndrome	Noda S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Invest Dermatol	High Levels of Soluble ST2 and Low Levels of IL-33 in Sera of Patients with HIV Infection	Miyagaki T	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Mod Rheumatol	The development of Th1-mediated sarcoidosis improves the clinical course of Th2-mediated atopic dermatitis	Miyagaki T	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Allergy Clin Immunol	Lesional dendritic cells in chronic atopic dermatitis and psoriasis exhibit parallel ability to activate T-cell subsets	Fujita H	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Dermatol	Development of Behçet's disease in a Caucasian with human leukocyte antigen B51 after immigration to Japan	Kimura T	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Dermatol Sci	Differential patterns of CXCR3, CCR3, and CCR10 expression in mycosis fungoides, Sezary syndrome and CD30+ lymphoproliferative disorders: immunohistochemical study of 43 samples	Suga H	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Eur J Dermatol	Cutaneous polyarteritis nodosa: complete clearance of the leg ulcer after the amputation of the contralateral leg	Aozasa N	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Dermatol	Primary cutaneous anaplastic large cell lymphoma with leg involvement: a case report and review of 11 cases	Sugaya M	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Dermatol	Primary lymphocutaneous nocardiosis due to Nocardia brasiliensis which was successfully treated only with oral potassium iodide	Aozasa N	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Acta Derm Venereol	Lymphomatoid Papulosis Showing gd T Cell Phenotype	Morimura S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Mod Rheumatol	Significant attenuation of macrovascular involvements by bosentan in a case of diffuse cutaneous systemic sclerosis with multiple digital ulcers and gangrene	Ichimura Y	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Rheumatol Int	Dermatomyositis with anti-OJ antibody	Noda S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Acta Derm Venereol	A case of systemic sclerosis with sarcoidosis	Suga H	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Investig Allergol Clin Immunol	Drug fever caused by eutectic mixture of local anesthetic cream	Kamata M	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Invest Dermatol	Blocking MAPK Signaling Down-regulates CCL21 in Lymphatic Endothelial Cells and Impairs Contact Hypersensitivity Responses	Miyagaki T	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Mycoses	Inflammatory tinea capitis due to Trichophyton tonsurans in a high school wrestler	Noda S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Eur J Dermatol	Lichen planus in a patient with long-term exposure to chrome	Noda S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科

Eur J Dermatol	Localized scleroderma en coup de sabre exacerbated during pregnancy followed by postpartum development of rheumatoid arthritis	Noda S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Eur Acad Dermatol Venereol	Serum Tie2 levels: clinical association with microangiopathies in patients with systemic sclerosis	Noda S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Eur J Dermatol	Pityriasis lichenoides et varioliformis acuta exacerbated after tonsillectomy	Noda S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Acta Derm Venereol	Hair shaft abnormalities of localized autosomal recessive hypotrichosis 2 and characteristics of non-syndromic human alopecias	Suga H	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Int J Dermatol	Varicella-like generalized pustulosis induced by adalimumab	Suga H	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Arch Dermatol	Clinical Correlations with Dermatomyositis (DM)-specific Autoantibodies in Adult Japanese Patients with DM: a Multi-centre, Cross-sectional Study	Asano Y	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Arthritis Rheum	The c-abl tyrosine kinase controls PKC- $\alpha$ induced Fli1 phosphorylation in human dermal fibroblasts	Asano Y	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Immunol	IL-23-mediated psoriasis-like epidermal hyperplasia is dependent on IL-17A	Kagami S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Pathol Res Pract	CCR10 and CCL27 are overexpressed in cutaneous squamous cell carcinoma	Kadono T	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Leukoc Biol	Human $\beta$ -defensin-2 enhances IFN- $\gamma$ and IL-10 production and suppresses IL-17 production in T cells	Kamata M	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Cytokine	Histamine differentially regulates the production of Th1 and Th2 chemokines by keratinocytes through histamine H1 receptor	Kagami S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Dermatol	Cysteinyl leukotriene receptor 2 gene polymorphism -1220 A/C is not associated with atopic dermatitis or psoriasis vulgaris in Japanese patients	Shibata S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Cancers	Inflammation and Tumor Microenvironment in Lymph Node Metastasis	Takekoshi T	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Blood	a reliable biomarker for malignant T cells in cutaneous T-cell lymphoma	Watanabe R	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
PLoS One	Amplified B Lymphocyte CD40 Signaling Drives Regulatory B10 Cell Expansion in Mice	Yanaba K	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Allergy Clin Immunol	Reversal of atopic dermatitis with narrow-band UVB phototherapy and biomarkers for therapeutic response	Fujita H	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Clin Rheumatol	Increasing levels of serum antioxidant status, total antioxidant power, in systemic sclerosis	Sato S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Wound Repair Regen	Concurrent validation and reliability of digital image analysis of granulation tissue color for clinical pressure ulcers	Kadono T	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Clin Oncol	Clinical endpoints and response criteria in mycosis fungoides and Sezary syndrome: a consensus statement of the International Society for Cutaneous Lymphomas (ISCL), the United States Cutaneous Lymphoma Consortium (USCLC) and the cutaneous lymphoma task force of the European Organization for Research and Treatment of Cancer (EORTC)	Sugaya M	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Endocrinology	Visfatin Enhances CXCL8, CXCL10, and CCL20 Production in Human Keratinocytes	Sato S	皮膚科・皮膚光線 レーザー科

Arthritis Rheum	The specific free radical scavenger edaravone suppresses fibrosis in tight-skin and bleomycin-induced mouse models of systemic sclerosis	Yanaba K	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Arthritis Rheum	Immunization with DNA topoisomerase I and complete Freund's adjuvant induces skin and lung fibrosis and autoimmunity via interleukin-6 signaling	Yanaba K	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Proc Natl Acad Sci USA	Monomeric and dimeric CXCL12 inhibit metastasis through distinct CXCR4 interactions and signaling pathways	Takekoshi T	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Immunol	Epidermal CCR6+ $\gamma$ $\delta$ T cells are essential producers of IL22 and IL17 in a murine model of psoriasisiform dermatitis	Takekoshi T	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Br J Dermatol	A case of taxane-induced scleroderma: a different expression profile of Fli1 proteins in dermal fibroblasts and microvascular endothelial cells compared with systemic sclerosis	Takahashi T	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Clin Cancer Res	IL-22, but not IL-17, Dominant Environment in Cutaneous T cell Lymphoma	Miyagaki T	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Dermatol Sci	Erythrodermic cutaneous T-cell lymphoma: How to differentiate this rare disease from atopic dermatitis	Miyagaki T	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
J Rheumatol	Serum interleukin-9 levels are increased in patients with systemic sclerosis: association with lower frequency and severity of pulmonary fibrosis	Yanaba K	皮膚科・皮膚光線 レーザー科
Jpn J Ophthalmology	Incidence of deepening of the upper eyelid sulcus after switching from latanoprost to bimatoprost	相原 一	眼科
Eye	Central 10-degree visual field change following trabeculectomy in advanced open-angle glaucoma	藤代 貴志	眼科
Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol	Case of metastatic pulmonary carcinoma in optic disc diagnosed from results of biopsy performed during vitrectomy surgery	福田 玲奈	眼科
Jpn J Ophthalmol	Effect of trabeculectomy on ocular and corneal higher-order aberrations	福岡 詩麻	眼科
Ophthalmology	Variation in optic nerve and macular structure with age and race with spectral-domain optical coherence tomography	Girkin CA	眼科
Am J Ophthalmol	Comparison of ultrasound biomicroscopic configurations among primary angle closure, its suspects, and nonoccludable angles	Henzan IM	眼科
Int Ophthalmol	Laser treatment of giant iris cyst with nanophthalmos	本田 紀彦	眼科
Jpn J Ophthalmol	Sudden onset of amantadine-induced reversible bilateral corneal edema in an elderly patient: Case report and literature review	保手演 充啓	眼科
PLoS One	Gene transfer using micellar nanovectors inhibits choroidal neovascularization in vivo	入山 彩	眼科
Cornea	Gene transfer using micellar nanovectors inhibits corneal neovascularization in vivo	入山 彩	眼科
Clin Ophthalmol	Acute progression of electrophysiologically affected fellow eye in unilaterally symptomatic acute zonal occult outer retinopathy	吳 香代	眼科
Int Ophthalmol	Asymptomatic subconjunctival entrapment of a cilium	三村 達哉	眼科
Cornea	Rapid immunochromatographic measurement of specific tear immunoglobulin E in moderate to severe cases of allergic conjunctivitis with immfast check J1 in the spring	三村 達哉	眼科

Int Arch Allergy Immunol	Specific tear IgE in patients with moderate-to-severe autumnal allergic conjunctivitis	三村 達哉	眼科
Cornea	Relation between total tear IgE and specific serum IgE in seasonal allergic conjunctivitis	三村 達哉	眼科
Eye Contact Lens	Severity and determinants of pinguecula in a hospital-based population	三村 達哉	眼科
Eye Contact Lens	Relationship between conjunctivochalasis and refractive error	三村 達哉	眼科
J Refract Surg	Limbal relaxing incision using a reference point and corneal topographer for intraoperative identification of the steepest meridian	宮田 和典	眼科
Clin Experiment Ophthalmol	Intraoperative mydriasis by intracameral injection of mydriatic eye drops: in vivo efficacy and in vitro safety studies	森 洋幸	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sct	In vivo Measurement of Blood Velocity in Human Major Retinal Vessels Using the Laser Speckle Method	永原 幸	眼科
Ophthalmology	Vitreomacular interface in typical exudative age-related macular degeneration and polypoidal choroidal vasculopathy	野村 陽子	眼科
J Ophthalmic Inflamm Infect	Phase II placebo-controlled study of nepafenac ophthalmic suspension 0.1% for postoperative inflammation and ocular pain associated with cataract surgery in Japanese patients	沼賀 二郎	眼科
Acta Ophthalmologica	Influence of a yellow-tinted intraocular lens on beam transmittance	白矢 智靖	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Increased proliferation and replicative lifespan of isolated human corneal endothelial cells with L-ascorbic acid 2-phosphate	島 信行	眼科
International Journal of Ophthalmology	Vitreous hemorrhage and fibrovascular proliferation after laser-induced chorioretinal venous anastomosis	白矢 智靖	眼科
Ophthalmology	Stroke and anti-VEGF therapy	上田 高志	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci	Identification of Schlemm's canal and its surrounding tissues by anterior segment fourier domain optical coherence tomography	臼井 智彦	眼科
Exp Eye Res	Neuroprotective Effects of prostaglandin analogues on retinal ganglion cell death independent of Intraocular pressure reduction.	山岸 麗子	眼科
Jpn J Ophthalmol	Utility values in Japanese patients with exudative age-related macular degeneration	柳 靖雄	眼科
Jpn J Ophthalmol	Relationship between the vision-related quality of life in Japanese patients and the methods for evaluating visual field	柳澤 美衣子	眼科
Lancet	Tsunami sinusitis	馬場 信太郎	耳鼻咽喉科
Otology & Neurotology	Bell's Palsy in children: relationship between electroneurography findings and prognosis in comparison with adults	馬場 信太郎	耳鼻咽喉科
Brain Research	Responsiveness of rat vestibular ganglion neurons to exogenous neurotrophic factors during postnatal development in dissociated cultures	千原 康裕	耳鼻咽喉科
Biochemical and Biophysical Research Communications	The Single pore residue Asp523 in PKD2L1 determines Ca <sup>2+</sup> permeation of the PKD1L3/PKD2L1 complex	藤本 千里	耳鼻咽喉科

Laryngoscope	The mitochondrial A3243G mutation involves the peripheral vestibule as well as the cochlea	岩崎 真一	耳鼻咽喉科
Acta Oto-Laryngologica	Effect of the canalith repositioning procedure on subjective visual horizontal in patients with posterior canal benign paroxysmal positional vertigo	岩崎 真一	耳鼻咽喉科
Otology & Neurotology	Endocytosis of cationized ferritin in marginal cells of the stria vascularis is regulated by protein kinase, protein phosphatase, and MEK/ERK and PI3-K signaling pathways	柿木 章伸	耳鼻咽喉科
ORL J Otorhinolaryngol Relat Spec	Endocytosis of microperoxidase in marginal cells is mainly regulated by RhoA signaling cascade, but not by Rho-associated protein kinase, myosin light-chain kinase and myosin phosphatase	柿木 章伸	耳鼻咽喉科
Arch Otolaryngol Head Neck Surg	Carhart notch 2-kHz bone conduction threshold dip: a nondefinitive predictor of stapes fixation in conductive hearing loss with normal tympanic membrane	榎尾 明憲	耳鼻咽喉科
Gene Therapy	Topical application of the antiapoptotic TAT-FNK protein prevents aminoglycoside-induced ototoxicity	榎尾 明憲	耳鼻咽喉科
ORL J Otorhinolaryngol Relat Spec	Evaluation of the Carhart effect in congenital middle ear malformation with both an intact external ear canal and a mobile stapes footplate	坂本 幸士	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx	A spontaneous true aneurysm of the superficial temporal artery treated by surgical resection	坂本 幸士	耳鼻咽喉科
J Comp Neurol	Age-related changes of the regeneration mode in the mouse peripheral olfactory system following olfactotoxic drug methimazole-induced damage	鈴川 佳吾	耳鼻咽喉科
Biochem Biophys Res Commun	A novel mutation of ALK2, L196P, found in the most benign case of fibrodysplasia ossificans progressiva activates BMP-specific intracellular signaling equivalent to a typical mutation, R206H	Ohte S, Haga N	リハビリテーション科
J Orthop Sci	Osteochondral autograft for medial femoral condyle chondral lesions in a patient with multiple epiphyseal dysplasia: long-term result	Taketomi S, Haga N	リハビリテーション科
運動療法と物理療法	片脚立位の動作分析—前顔面に注目して—	大竹祐子, 芳賀信彦	リハビリテーション科
小児の脳神経	二分脊椎患者を対象とした三次元歩行分析	戸島美智生, 芳賀信彦	リハビリテーション科
Cancer Science	Aberrations of NEGR1 on 1p31 and MYEOV on 11q13 in neuroblastoma.	Takita J	小児科
Clin Exp Nephrol	Morphological and functional analyses of two infants with obstructive renal dysplasia.	Miura K	小児科
Clin Exp Nephrol	Early occurrence of nephrotic syndrome associated with cord blood stem cell transplantation.	Miura K	小児科
J Am Coll Cardiol	Coronary atherosclerosis is associated with macrophage polarization in epicardial adipose tissue.	Hirata Y	小児科
Int Heart J	Enhanced inflammation in epicardial fat in patients with coronary artery disease	Hirata Y	小児科
Biomedicine & Aging Pathology	A synthetic prostacyclin agonist, ONO-1301, ameliorates ventricular remodeling after acute myocardial infarction via upregulation of HGF in rat.	Hirata Y	小児科
Brain & Develop	Congenital infection-like syndrome with intracranial calcification.	Mizuno Y	小児科
J Laparoendosc Adv Surg Tech A	Laparoscopic gastric pull-up and thoracoscopic esophago-esophagostomy combined with intrathoracic fundoplication for long-gap pure esophageal atresia	Iwanaka T	小児外科

J Laparoendosc Adv Surg Tech A.	A pilot study of laparoscopic gastric pull-up by using the natural orifice transluminal endoscopic surgery technique	Ishimaru T,Iwanaka T	小児外科
Pediatr Surg Int	Skill qualifications in pediatric minimally invasive surgery	Iwanaka T	小児外科
J Pediatr Surg	Bile duct duplication as a cause of distal bowel gas in neonatal duodenal obstruction	Komuro H	小児外科
Clin Neurophysiol	Association between severer dorsolateral prefrontal dysfunction during random number generation and earlier onset in schizophrenia.	Koike S	精神神経科
Hum Brain Mapp	Gray and white matter asymmetries in healthy individuals aged 21–29 years: A voxel-based morphometry and diffusion tensor imaging study.	Takao H	精神神経科
PLoS ONE	Criterion and construct validity of the CogState schizophrenia battery in Japanese patients with schizophrenia.	Yoshida T	精神神経科
Psychiatry Clin Neurosci	Case of alfacalcidol-induced hypercalcemia presenting as bipolar disorder.	Tamiya H	精神神経科
Trials	Comprehensive early intervention for patients with first-episode psychosis in Japan (J-CAP), study protocol for a randomized controlled trial.	Koike S	精神神経科
Schizophr Res	Different hemodynamic response patterns in the prefrontal cortical sub-regions according to the clinical stages of psychosis.	Koike S	精神神経科
PLoS ONE	Classification of first-episode schizophrenia patients and healthy subjects by automated MRI measures of regional brain volume and cortical thickness.	Takayanagi Y	精神神経科
Biol Psychiatry	Reply to “Neurogenetic effects of OXTR rs2254298 in the extended limbic system of healthy Caucasian adults”.	Yamasue H	精神神経科
Neuroradiology	Cortical thickness, gray matter volume, and white matter anisotropy and diffusivity in schizophrenia.	Murakami M	精神神経科
Am J Med Genet B Neuropsychiatr Genet	Association analysis of RGS2 variants with panic disorder in a Japanese population.	Otowa T	精神神経科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	The SIGMAR1 gene is associated with a risk of schizophrenia and activation of the prefrontal cortex.	Ohi K	精神神経科
Schizophr Res	Reduced amygdala and hippocampal volumes in patients with methamphetamine psychosis.	Yamasue H	精神神経科
PLoS ONE	Effects of metabotropic glutamate receptor 3 genotype on phonetic mismatch negativity.	Kawakubo Y	精神神経科
PLoS ONE	Developmental changes of prefrontal activation in humans: a near-infrared spectroscopy study of preschool children and adults.	Kawakubo Y	精神神経科
Psychiatry Clin Neurosci	No association between CLOCK gene 3111C/T polymorphism and personality traits in Japanese healthy subjects.	Otowa T	精神神経科
Psychiatry Clin Neurosci	Phonological fluency is uniquely impaired in Japanese-speaking schizophrenia: a confirmation study.	Suga M	精神神経科
Psychiatry Clin Neurosci	Idiopathic carbonyl stress in a drug-naïve case of at risk mental state.	Arai M	精神神経科
Transl Psychiatry	Age-related change in brain metabolite abnormalities in autism: A meta-analysis of proton magnetic resonance spectroscopy studies.	Yamasue H	精神神経科

Schizophr Res	Localized gray matter volume reductions in the pars triangularis of the inferior frontal gyrus in individuals at clinical high-risk for psychosis and first episode for schizophrenia.	Yamasue H	精神神経科
Genome Research	Neurons show distinctive DNA methylation profile and higher interindividual variations compared with non-neurons.	Iwamoto K	精神神経科
Eur J Radiol	Detection of hepatocellular carcinoma by Gd-EOB-DTPA-enhanced liver MRI: comparison with triple phase 64 detector row helical CT.	Akai H 赤井 宏行	放射線科
Eur J Radiol	Fate of hypointense lesions on Gd-EOB-DTPA-enhanced magnetic resonance imaging.	Akai H 赤井 宏行	放射線科
Gut	Pancreas divisum as a predisposing factor for chronic and recurrent idiopathic pancreatitis: initial in vivo survey.	Gonoi W 五ノ井 渉	放射線科
Clin Imaging	Retroportal main pancreatic duct with circumportal pancreas: radiographic visualization.	Gonoi W 五ノ井 渉	放射線科
AJNR Am J Neuroradiol	Effects of age and gender on white matter integrity.	Inano S 稲野 祥子	放射線科
Leg Med	Hypostasis in the heart and great vessels of non-traumatic in-hospital death cases on postmortem computed tomography: relationship to antemortem blood tests.	Ishida M 石田 尚利	放射線科
Leg Med	Postmortem changes of the thyroid on computed tomography.	Ishida M 石田 尚利	放射線科
Leg Med	Intravascular gas distribution in the upper abdomen of non-traumatic in-hospital death cases on postmortem computed tomography.	Ishida M 石田 尚利	放射線科
Neuroradiology	Radiological features of IgG4-related disease in the head, neck, and brain.	Katsura M 桂 正樹	放射線科
Radiother Oncol	4D-CBCT reconstruction using MV portal imaging during volumetric modulated arc therapy.	Kida S 木田 智士	放射線科
Jpn J Radiol	Radiology reading-caused fatigue and measurement of eye strain with critical flicker fusion frequency.	Maeda E 前田 恵理子	コンピュータ画像診断学 ／予防医学講座
Jpn J Radiol	Comparison of CT findings of biliary tract changes with autoimmune pancreatitis and extrahepatic bile duct cholangiocarcinoma.	Maeda E 前田 恵理子	コンピュータ画像診断学 ／予防医学講座
Jpn J Radiol	Precision of the measurement of CT numbers: comparison of dual-energy CT spectral imaging with fast kVp switching and conventional CT with phantoms.	Matsuda I 松田 出	放射線科
Acta Oncol	Radiation therapy did not alleviate complete paralysis due to metastasis of lung adenocarcinoma to thoracic vertebrae until four months later.	Nakagawa K 中川 恵一	放射線科
Jpn J Radiol	Inflammatory pseudotumor of the intrapancreatic accessory spleen: computed tomography and magnetic resonance imaging findings.	Okura N 大倉 直樹	放射線科
J Radiat Res	First in-situ dose calculation report using in-treatment kilovoltage cone-beam CT and in-treatment linac parameters during volumetric modulated arc therapy.	Sakumi A 作美 明	放射線科
J Radiat Res	Single-arc volumetric modulated arc therapy planning for left breast cancer and regional nodes.	Sakumi A 作美 明	放射線科
Jpn J Radiol	Effect of radiation dose and adaptive statistical iterative reconstruction on image quality of pulmonary computed tomography.	Sato J 佐藤 次郎	放射線科
Radiat Oncol	Evaluation of heterogeneity dose distributions for Stereotactic Radiotherapy (SRT): comparison of commercially available Monte Carlo dose calculation with other algorithms.	Takahashi W 高橋 渉	放射線科

Hum Brain Mapp	Gray and white matter asymmetries in healthy individuals aged 21–29 years: a voxel-based morphometry and diffusion tensor imaging study.	Takao H 高尾 英正	放射線科
Int J Cardiovasc Imaging	Relationship between beat to beat coronary artery motion and image quality in prospectively ECG-gated two heart beat 320-detector row coronary CT angiography.	Tomizawa N 富澤 信夫	放射線科
Eur J Radiol	Influence of hemodynamic parameters on coronary artery attenuation with 320-detector row coronary CT angiography.	Tomizawa N 富澤 信夫	放射線科
Eur J Radiol	Prediction of the attenuation of the ascending aorta using bolus-tracking parameters and heart rate in coronary computed tomography angiography.	Tomizawa N 富澤 信夫	放射線科
Jpn J Clin Oncol	Correlation between bladder volume and irradiated dose of small bowel in CT-based planning of intracavitary brachytherapy for cervical cancer.	Yamashita H 山下 英臣	放射線科
Am J Surg Pathol	$\beta$ -catenin (CTNNB1) S33C mutation in ovarian microcystic stromal tumors.	Maeda D	病理部
Cancer Res	Classification of Epstein-Barr virus positive gastric cancers by definition of DNA methylation epigenotypes.	Matsusaka K	病理部
Histopathology	Gastric carcinoma with invasive micropapillary pattern and its association with lymph node metastasis.	Ushiku T	病理部
J Histochem Cytochem	Claudin-18 is an early-stage marker of pancreatic carcinogenesis.	Tanaka M	病理部
Hum Pathol	Pleural cavity angiosarcoma arising in chronic expanding hematoma after pneumonectomy.	Miyazaki H	病理部
Pathol Int	Multicystic mesothelioma of the pericardium.	Morita S	病理部
Mol Micro	Lipoprotein biosynthesis by prolipoprotein diacylglycerol transferase is required for efficient spore germination and full virulence of <i>Bacillus anthracis</i> .	奥川 周	感染制御部
Infec Immun	MyD88-dependent signaling protects against anthrax lethal toxin-induced impairment of intestinal barrier function.	奥川 周	感染制御部
Infect Control Hosp Epidemiol	Pandemic 2009 Influenza A (H1N1) Virus among Japanese Healthcare Workers: Seroprevalence and Risk Factors.	眞井 陽子	感染制御部
Open Ophthalmol J.	Functional Roles of Electrogenic Sodium Bicarbonate Cotransporter NBCe1 in Ocular Tissues.	鈴木 正志	感染制御部
Brain Dev	Factors affecting clinicians' decision as to whether to prescribe psychotropic medications or not in treatment of tic disorders.	桑原 斉	こころの発達診療部
Psychiatry Clin Neurosci	Impact of obsessive-compulsive symptoms in Tourette's syndrome on neuropsychological performance.	金生由紀子	こころの発達診療部
Res Autism Spectr Disord	Parental age and assisted reproductive technology in autism spectrum disorders, attention deficit hyperactivity disorder, and Tourette syndrome in a Japanese population.	島田隆史	こころの発達診療部
PLoS ONE	Effects of metabotropic glutamate receptor 3 genotype on phonetic mismatch negativity.	川久保友紀	こころの発達診療部
PLoS ONE	Developmental changes of prefrontal activation in humans: a near-infrared spectroscopy study of preschool children and adults.	川久保友紀	こころの発達診療部
Gastroenterology	Tests for Serum Levels of Trefoil Factor Family Proteins Can Improve Gastric Cancer Screening.	愛甲 丞	胃食道外科



J Gastroenterol	An open-label, single-arm study assessing the efficacy and safety of L-menthol sprayed onto the gastric mucosa during upper gastrointestinal endoscopy.	比企 直樹	癌研有明病院
Clin Pharmacol Ther	A phase I study evaluating tolerability, pharmacokinetics, and preliminary efficacy of L-menthol in upper gastrointestinal endoscopy.	比企 直樹	癌研有明病院
Gastrointest Endosc	Antiperistaltic effect and safety of L-menthol sprayed on the gastric mucosa for upper GI endoscopy: a phase III, multicenter, randomized, double-blind, placebo-controlled study.	比企 直樹	癌研有明病院
Anticancer Res.	Efficacy of meloxicam in combination with preoperative chemotherapy for breast cancer – Japan Breast Cancer Research Network (JBCRN) 02-1 trial.	Iwase S, Yamamoto D 他	緩和ケア診療部
J Palliat Med.	Efficacy and undesirable effects of corticosteroid therapy experienced by palliative care specialists in Japan: a nationwide survey.	Iwase S, Matsuo N 他	緩和ケア診療部
Anticancer Res.	Phase II trial of preoperative chemotherapy for breast cancer: Japan Breast Cancer Research Network (JBCRN)-02 trial.	Iwase S, Yamamoto D 他	緩和ケア診療部
Acta Oncol.	Radiation therapy did not alleviate complete paralysis due to metastasis of lung adenocarcinoma to thoracic vertebrae until four months later.	Nakagawa K, 他	緩和ケア診療部
J Radiat Res.	Cone beam computed tomography data acquisition during VMAT delivery with subsequent respiratory phase sorting based on projection image cross-correlation.	Nakagawa K, 他	緩和ケア診療部
Med Phys.	Technical note: Extension of Van Herk's treatment margin model for anisotropic systematic positioning errors in cartesian coordinate systems.	Nakagawa K, 他	緩和ケア診療部
Radiother Oncol.	4D-CBCT reconstruction using MV portal imaging during volumetric modulated arc therapy.	Nakagawa K, Yoda K	緩和ケア診療部
Surg Today. 2011 May;41(5):606-11.	$\gamma$ $\delta$ T-cell immunotherapy for lung cancer.	Yoshida Y, Nakajima J, Wada H, Kakimi K.	免疫細胞治療学講座
Int J Urol. 2011 Jun;18(6):412-21.	Exploring immune therapy for renal cancer	Matsushita H, Kakimi K.	免疫細胞治療学講座
J Vis Exp. 2011 Sep 9;(55)	Expansion of human peripheral blood $\gamma$ $\delta$ T cells using zoledronate.	Kondo M, Izumi T, Kakimi	免疫細胞治療学講座
Int J Cancer. 2011 Dec 15;129(12):2836-46.	A phase I study of vaccination with NY-ESO-1 peptide mixed with Picibanil OK-432 and Montanide ISA-51 in patients with cancers expressing the NY-ESO-1 antigen.	Kakimi K, Isobe M, Uenaka A,	免疫細胞治療学講座
Clin Physiol Func Imaging (in press)	Hemostatic and inflammatory responses to blood flow restricted exercise in patients with ischemic heart diseases: a pilot study	Madarame H, Kurano M, Fukumura K, Fukuda T, Nakajima T	加圧トレーニング虚血循環生理学
Scandinavian Journal of Medicine and Science in Sports (in press)	Effects of low-intensity, elastic band resistance exercise combined with blood flow restriction on muscle activation.	Yasuda T, Fukumura K, Fukuda T, Iida H, Imuta H, Sato Y, Yamasoba T, Nakajima T.	加圧トレーニング虚血循環生理学
International Journal of Cardiology (in press)	Endothelial dysfunction following drug-eluting stent implantation. A systematic review of the literature.	Minami Y, Kaneda H, Inoue M, Ikutomi M, Morita T, Nakajima T	循環器内科
Comput Biol Med 2012; 42: 205-212.	Time frequency power profile of QRS complex obtained with wavelet transform in spontaneously hypertensive rats.	Takano NK, Tsutsumi T, Suzuki H, Okamoto Y, Nakajima T.	循環器内科
Brain Research 2012; 1429: 29-35.	Developmental changes in the expression of KV1 potassium channels in rat vestibular ganglion cells.	Iwasaki S, Nakajima T, Chihara Y, Inoue A, Fujimoto C, Yamasoba T.	耳鼻咽喉科
European Journal of Cardiovascular Prevention Rehabilitation (in press)	Cardiac rehabilitation decreases plasma pentraxin3 in patients with cardiovascular diseases.	Fukuda T, Kurano M, Iida H, Takano H, Yamamoto Y, Ikeda K, Nagasaki M, Monzen K, Ueda K, Kato M, Shimizu T	加圧トレーニング虚血循環生理学
Anti-aging Medicine 2011; 8: 92-102.	Effects of exercise and anti-aging.	Nakajima T, Yasuda T, Sato Y, Morita T, Yamasoba T.	加圧トレーニング虚血循環生理学

Int J KAATSU Training Res 2011; 7:13-17.	A case of dementia presenting remarkably improvement in activities of daily living through KAATSU training.	Fukuda T, Fukumura K, Uchida Y, Ootaka T, Yasuda T, Iida H, Morita T, Nakajima T, Sato Y, Abe T.	加圧トレーニング虚血循環生理学
Int J KAATSU Training Res 2011; 7:1-6.	Key considerations when conducting KAATSU training.	Nakajima T, Morita T, Sato Y.	加圧トレーニング虚血循環生理学
Clin Physiol Func Imaging 2011; 31: 472-476.	Effects of walking with blood flow restriction on limb venous compliance in elderly subjects.	Iida H, Nakajima T, Kurano M, Yasuda T, Sakamaki M, Sato Y, Abe T.	加圧トレーニング虚血循環生理学
Heart Rhythm 2011; 8:1509-1515.	High frequency powers hidden within QRS complex as an additional predictor of lethal ventricular arrhythmias to ventricular late potential in post-myocardial infarction patients.	Tsutsumi T, Takano N, Matsuyama N, Higashi Y, Iwasawa K, Nakajima T.	加圧トレーニング虚血循環生理学
Int Heart J-2011; 52: 185-193.	Effects of serum amyloid A and lysophosphatidylcholine on intracellular calcium concentration in human coronary smooth muscle cells.	Tanaka T, Ikada K, Yamamoto Y, Iida H, Kikuchi H, Morita T, Yamasoba T, Nagai R, Nakajima T.	循環器内科
Gazzetta Medica Italiana 2011; 170: 63-67.	Blood flow restricted exercise in a ballet dancer with Churg-Straus syndrome.	Madarame H, Takano H, Iida H, Hashida H, Morita T, Nakajima T.	加圧トレーニング虚血循環生理学
Angiology 2011; 62: 81-86.	Effects of 10-weeks walk training with leg blood flow reduction on carotid arterial compliance and muscle size in the elderly adults.	Ozaki H, Miyachi M, Nakajima T, Abe T.	加圧トレーニング虚血循環生理学
J Gerontol A Biol Sci Med Sci 2011; 66:257-263.	Increases in thigh muscle volume and strength by walk training with leg blood flow reduction in older participants.	Ozaki H, Sakamaki M, Yasuda T, Fujita S, Ogasawara R, Sugaya M, Nakajima T, Abe T.	加圧トレーニング虚血循環生理学
J Bone Miner Metab, 29, 96-102	Capacity of endogenous sex steroids to predict bone loss in Japanese men: 10-year follow-up of the Taiji Cohort Study.	Yoshimura N, Muraki S, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T.	関節疾患総合研究講座
Occup Environ Med, 68, 191-196	Prevalence and correlates of regional pain and associated disability in Japanese workers.	Matsudaira K, Palmer KT, Reading I, Hirai M, Yoshimura N, Coggon D.	関節疾患総合研究講座
Osteoarthritis Cartilage, 19, 254-264	Recommendations for standardization and phenotype definitions in genetic studies of osteoarthritis: the TREAT-OA consortium.	Kerkhof HJ, Meulenbelt I, Akune T, Arden NK, Aromaa A, Bierma-Zeinstra SM, Carr A, et al.	関節疾患総合研究講座
Ann Rheum Dis, 70, 349-355	Meta-analysis of genome-wide association studies confirms a susceptibility locus for knee osteoarthritis on chromosome 7q22.	Evangelou E, Valdes AM, Kerkhof HJ, Styrkarsdottir U, Zhu Y, Meulenbelt I, Lories RJ, Karassa FB, et al.	関節疾患総合研究講座
J Rheum, 38, 921-930	Association of knee osteoarthritis with the accumulation of metabolic risk factors such as overweight, hypertension, dyslipidaemia, and impaired glucose tolerance in Japanese men and women: The ROAD Study.	Yoshimura N, Muraki S, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T.	関節疾患総合研究講座
Osteoporos Int, 22, 1277-1288	Secular trends in the incidence of hip and other osteoporotic fractures.	Cooper C, Cole ZA, Holroyd CR, Earl SC, Harvey NC, Dennison EM, Melton LJ3, Cummings SR, et al.	関節疾患総合研究講座
Osteoarthritis Cartilage, 19, 840-846	Association of occupational activity with joint space narrowing and osteophytosis in the medial compartment at the knee: The ROAD study.	Muraki S, Oka H, Akune T, En-yo Y, Yoshida M, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N.	関節疾患総合研究講座
Spine (Phila Pa 1976) , 36, 1312-1319	Health-related quality of life in subjects with low back pain and knee pain in a population-based cohort study of Japanese men.	Muraki S, Akune T, Oka H, En-yo Y, Yoshida M, Saika A, Suzuki T, Yoshida H, Ishibashi H, Tokimura F, et al.	関節疾患総合研究講座
Int J Cancer, 29, 2704-2711	Elevated risk of colorectal adenoma with Helicobacter pylori-related chronic gastritis: A population-based case-control study.	Inoue I, Mukoubayashi C, Yoshimura N, Deguchi H, Watanabe M, Enomoto S, Maekita T, Ueda K, Iguchi M, et al.	関節疾患総合研究講座
J Bone Miner Metab, 29, 699-708	Changes in serum levels of biochemical markers of bone turnover over 10 years among Japanese men and women: associated factors and birth-cohort effect. The Taiji Study.	Yoshimura N, Oka H, Muraki S, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T.	関節疾患総合研究講座
J Orthop Sci, 16, 768-777	Reference values for hand grip strength, muscle mass, walking time, and one-leg standing time as indices for locomotive syndrome and associated disability: The second survey of the ROAD study.	Yoshimura N, Oka H, Muraki S, Akune T, Hirabayashi N, Matsuda S, Nojiri T, Hatanaka K, et al.	関節疾患総合研究講座
Mod Rheumatol, 21, 608-620	Biochemical markers of bone turnover as predictors of osteoporosis and osteoporotic fractures in men and women: 10-year follow-up of the Taiji cohort.	Yoshimura N, Muraki S, Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, Akune T.	関節疾患総合研究講座
Arthritis Care & Research(Hoboken), 63, 1425-1431	Prevalence of falls and the association with knee osteoarthritis and lumbar spondylosis as well as knee and low back pain in Japanese men and women.	Muraki S, Akune T, Oka H, En-yo Y, Yoshida M, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N.	関節疾患総合研究講座

Arthritis Rheum, 63, 3859-3864	Independent association of joint space narrowing and osteophyte formation at the knee with health-related quality of life in Japan: A Cross Sectional study.	Muraki S, Oka H, Akune T, En-yo Y, Yoshida M, Suzuki T, Yoshida H, Ishibashi H, Tokimura F, Yamamoto S, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N	関節疾患総合研究講座
Osteoarthritis Cartilage, 19, 1301-1306	Association of vitamin D status with knee pain and radiographic knee osteoarthritis.	Muraki S, Dennison E, Jameson K, Boucher BJ, Akune T, Yoshimura N, Judge A, Arden NK, Javaid K, Cooper C	関節疾患総合研究講座
Human Molecular Genetics, 21, 1111-1123	C/EBP $\beta$ and RUNX2 cooperate to degrade cartilage with MMP-13 as the target and HIF-2 $\alpha$ as the inducer in chondrocytes.	Hirata M, Kugimiya F, Fukai A, Saito T, Yano F, Ikeda T, Mabuchi A, Sapkota BR, Akune T, Nishida N, Yoshimura N, Nakagawa T, Tokunaga K, Nakamura K, Chung U	関節疾患総合研究講座
Arthritis Rheum	Incidence and risk factors for radiographic knee osteoarthritis and knee pain in Japanese men and women: A longitudinal population-based cohort study.	Muraki S, Akune T, Oka H, Ishimoto Y, Nagata K, Yoshida M, Tokimura F, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N	関節疾患総合研究講座
Osteoporos Int	Physical performance, bone and joint diseases, and incidence of falls in Japanese men and women: a longitudinal cohort study.	Muraki S, Akune T, Oka H, Ishimoto Y, Nagata K, Yoshida M, Tokimura F, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N	関節疾患総合研究講座
Osteoarthritis Cartilage	Incidence and risk factors for radiographic lumbar spondylosis and lower back pain in Japanese men and women: the ROAD study.	Muraki S, Akune T, Oka H, Ishimoto Y, Nagata K, Yoshida M, Tokimura F, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N	関節疾患総合研究講座
Public Health	The prevalence of vertebral fracture in asian men and women: comparison between Hong Kong, Thailand, Indonesia and Japan.	Kwok A, Leung J, Chan A, Au B, Lau E, Yurianto H, Yuktanandana P, Yoshimura N, Muraki S, Oka H, Akune T	関節疾患総合研究講座
Int J Cancer	Development of gastric cancer in non-atrophic stomach with highly active inflammation identified by serum levels of pepsinogen and Helicobacter pylori antibody together with endoscopic rugal hyperplastic gastritis.	Watanabe M, Kato J, Yoshimura N, Inoue I, Mukoubayashi C, Yoshida T, Deguchi H, Enomoto S, Oka H, Akune T	関節疾患総合研究講座
Osteoporos Jpn, 19, 583-587	要介護予防からみた地域住民における加齢性筋肉減少症の実態と予防に関する研究: The ROAD Study.	阿久根徹、村木重之、岡敬之、川口浩、中村耕三、吉村典子	関節疾患総合研究講座
Osteoporos Jpn, 19, 221-224	ロコモティブシンドロームの基礎疾患である腰椎椎体骨折、変形性腰椎症、変形性膝関節症と運動機能との関連。	阿久根徹、村木重之、岡敬之、川口浩、中村耕三、吉村典子	関節疾患総合研究講座
Osteoporos Jpn, 19, 640-643	大規模コホートスタディによる骨関節疾患と食事及び運動との関連-The ROAD study。	村木重之、阿久根徹、岡敬之、中村耕三、川口浩、吉村典子	関節疾患総合研究講座
Osteoporosis Jpn	ビタミンD不足が要介護移行に及ぼす影響: The ROAD Study.	吉村典子、村木重之、岡敬之、川口浩、中村耕三、阿久根徹	関節疾患総合研究講座
Osteoporosis Jpn	骨代謝マーカーによる骨粗鬆症発生の予測。	吉村典子、村木重之、岡敬之、川口浩、中村耕三、阿久根徹	関節疾患総合研究講座
日本臨床, 69, 1323-1331	ロコモティブシンドローム。	中村耕三、吉村典子、阿久根徹、川口浩、石橋英明	関節疾患総合研究講座
医学のあゆみ, 236, 315-318	大規模住民調査からみえてきた運動器疾患の実態: ROAD study.	吉村典子	関節疾患総合研究講座
Clinical Calcium, 21, 821-825	わが国における変形性関節症の疫学: 大規模住民コホート研究ROADより。	吉村典子	関節疾患総合研究講座
Monthly Book Orthopaedics, 24, 27-32	ロコモの疫学。	吉村典子	関節疾患総合研究講座
Bone Joint Nerve, 1, 241-246	大腿骨頭部骨折の発生率の世界的動向。	吉村典子	関節疾患総合研究講座
日本栄養士会雑誌, 54, 4-8	ロコモティブシンドロームの概要と変形性関節症。	吉村典子	関節疾患総合研究講座

日本薬理学雑誌, 138, 18-21	変形性膝関節症の画像診断・評価の最前線.	岡敬之, 吉村典子	関節疾患総合研究講座
Bone Joint Nerve, 2, 5-9	変形性関節症の疫学: 大規模住民コホート調査ROADより.	吉村典子	関節疾患総合研究講座
臨床整形外科, 46, 1089	運動器と疫学研究.	吉村典子	関節疾患総合研究講座
ORTHO-VIEWS	臨床 運動器障害の疫学—大規模住民調査ROAD.	吉村典子	関節疾患総合研究講座
Monthly Book Orthopaedics	骨粗鬆症の疫学. 知っておきたい骨粗鬆症診療マニュアル.	吉村典子	関節疾患総合研究講座
整形外科	運動器症候群(ロコモ)の疫学: 大規模住民調査ROADより.	吉村典子	関節疾患総合研究講座
<i>Intern Med</i> 2011;50(1):37-42.	Delay in Tetracycline Treatment Increases the Risk of Complications in Tsutsugamushi Disease.	Yasunaga H, Horiguchi H, Kuwabara K, Hashimoto H, Matsuda S.	医療経営政策学
<i>Am J Trop Med Hyg</i> 2011;84(1):135-136.	Venomous Snake Bites in Japan.	Yasunaga H, Horiguchi H, Kuwabara K, Hashimoto H, Matsuda S.	医療経営政策学
<i>Evidence-Based Complementary and Alternative Medicine</i> 2011, Article ID 264289, 7 pages.	Effect of the Japanese herbal Kampo medicine Dai-kenchu-to on postoperative adhesive small bowel obstruction requiring long-tube decompression: a propensity score analysis.	Yasunaga H, Miyata H, Horiguchi H, Kuwabara K, Hashimoto H, Matsuda S.	医療経営政策学
<i>International Journal of Health Geographics</i> 2011; 10:26.	Population Density, Call-response Interval, and Survival of Out-of-hospital Cardiac Arrest.	Yasunaga H, Miyata H, Horiguchi H, Tanabe S, Akahane M, Ogawa T, Koike S, Imamura T.	医療経営政策学
<i>Urology</i> 2011;77(6):1325-9.	Difference in Willingness-to-pay for Prostate Cancer Screening between Ill-informed and Well-informed Men: A Contingent Valuation Survey.	Yasunaga H, Sugihara T, Imamura T.	医療経営政策学
<i>Lancet</i> 2011;378(9797):1174-1182.	Cost containment and quality of care in Japan: is there a trade-off?	Hashimoto H, Ikegami N, Shibuya K, Izumida N, Noguchi H, Yasunaga H, Miyata H, Acuin JM, Reich MP.	医療経営政策学
<i>Breast J</i> 2011;17(6):683-5.	Incidence of severe adverse events requiring hospital care after trastuzumab infusion for metastatic breast cancer: a nationwide survey using an administrative claim database.	Horiguchi H, Yasunaga H, Hashimoto H, Matsuda S.	医療経営政策学
<i>BMC Health Serv Res</i> 2012;12:129.	Variation in cancer surgical outcomes associated with physician and nurse staffing: a retrospective observational study using the Japanese Diagnosis Procedure Combination Database.	Yasunaga H, Hashimoto H, Horiguchi H, Miyata S, Matsuda S.	医療経営政策学
<i>Hepatol Res</i> 2012 DOI: 10.1111/j.1872-034X.2012.01022.x.	Relationship between hospital volume and operative mortality for liver resection: data from the Japanese Diagnosis Procedure Combination database.	Yasunaga H, Horiguchi H, Matsuda S, Fushimi K, Hashimoto H, Ohe K, Kokudo N.	医療経営政策学
<i>J Bone Miner Metab</i> , 29, 96-102	Capacity of endogenous sex steroids to predict bone loss in Japanese men: 10-year follow-up of the Taiji Cohort Study.	Yoshimura N, <u>Muraki S</u> , Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, <u>Akune T</u>	臨床運動器医学講座
<i>J Rheum</i> , 38, 921-930	Association of knee osteoarthritis with the accumulation of metabolic risk factors such as overweight, hypertension, dyslipidaemia, and impaired glucose tolerance in Japanese men and women: The ROAD Study.	Yoshimura N, <u>Muraki S</u> , Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, <u>Akune T</u>	臨床運動器医学講座
<i>Spine (Phila Pa 1976)</i> , 36, 1312-1319	Health-related quality of life in subjects with low back pain and knee pain in a population-based cohort study of Japanese men.	<u>Muraki S</u> , <u>Akune T</u> , Oka H, En-yo Y, Yoshida M, Saika A, Suzuki T, Yoshida H, Ishibashi H, Tokimura F, Yoshimura N	臨床運動器医学講座
<i>Osteoarthritis Cartilage</i> , 19, 840-846	Association of occupational activity with joint space narrowing and osteophytosis in the medial compartment at the knee: The ROAD study.	<u>Muraki S</u> , Oka H, <u>Akune T</u> , En-yo Y, Yoshida M, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N	臨床運動器医学講座
<i>J Bone Miner Metab</i> , 29, 699-708	Changes in serum levels of biochemical markers of bone turnover over 10 years among Japanese men and women: associated factors and birth-cohort effect. The Taiji Study.	Yoshimura N, Oka H, <u>Muraki S</u> , Kawaguchi H, Nakamura K, <u>Akune T</u>	臨床運動器医学講座
<i>Mod Rheumatol</i> , 21, 608-620	Biochemical markers of bone turnover as predictors of osteoporosis and osteoporotic fractures in men and women: 10-year follow-up of the Taiji cohort.	Yoshimura N, <u>Muraki S</u> , Oka H, Kawaguchi H, Nakamura K, <u>Akune T</u>	臨床運動器医学講座

J Orthop Sci, 16, 768-777	Reference values for hand grip strength, muscle mass, walking time, and one-leg standing time as indices for locomotive syndrome and associated disability: The second survey of the ROAD study.	Yoshimura N, Oka H, Muraki S, Akune T, Hirabayashi N, Matsuda S, Nojiri T, Hatanaka K, Ishimoto Y, Nagata K	臨床運動器医学講座
Osteoarthritis Cartilage, 19, 1301-1306	Association of vitamin D status with knee pain and radiographic knee osteoarthritis.	Muraki S, Dennison E, Jameson K, Boucher BJ, Akune T, Yoshimura N, Judge A, Arden NK, Javaid K, Cooper C	臨床運動器医学講座
Arthritis Rheum, 63, 3859-3864	Independent association of joint space narrowing and osteophyte formation at the knee with health-related quality of life in Japan: A Cross Sectional study.	Muraki S, Oka H, Akune T, En-yo Y, Yoshida M, Suzuki T, Yoshida H, Ishibashi H, Tokimura F, Yamamoto S, Nakamura K	臨床運動器医学講座
Arthritis Care & Research(Hoboken), 63, 1425-1431	Prevalence of falls and the association with knee osteoarthritis and lumbar spondylosis as well as knee and low back pain in Japanese men and women.	Muraki S, Akune T, Oka H, En-yo Y, Yoshida M, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N	臨床運動器医学講座
Human Molecular Genetics, 21, 1111-1123	C/EBP $\beta$ and RUNX2 cooperate to degrade cartilage with MMP-13 as the target and HIF-2 $\alpha$ as the inducer in chondrocytes.	Hirata M, Kugimiya F, Fukai A, Saito T, Yano F, Ikeda T, Mabuchi A, Sapkota BR, Akune T, Ishimoto Y, Nagata K	臨床運動器医学講座
Arthritis Rheum	Incidence and risk factors for radiographic knee osteoarthritis and knee pain in Japanese men and women: A longitudinal population-based cohort study.	Muraki S, Akune T, Oka H, Ishimoto Y, Nagata K, Yoshida M, Tokimura F, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N	臨床運動器医学講座
Osteoporos Int	Physical performance, bone and joint diseases, and incidence of falls in Japanese men and women: a longitudinal cohort study.	Muraki S, Akune T, Oka H, Ishimoto Y, Nagata K, Yoshida M, Tokimura F, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N	臨床運動器医学講座
Osteoarthritis Cartilage	Incidence and risk factors for radiographic lumbar spondylosis and lower back pain in Japanese men and women: the ROAD study.	Muraki S, Akune T, Oka H, Ishimoto Y, Nagata K, Yoshida M, Tokimura F, Nakamura K, Kawaguchi H, Yoshimura N	臨床運動器医学講座
Public Health	The prevalence of vertebral fracture in asian men and women: comparison between Hong Kong, Thailand, Indonesia and Japan.	Kwok A, Leung J, Chan A, Au B, Lau E, Yurianto H, Yuktanandana P, Yoshimura N, Muraki S, Oka H, Akune T, Oka H	臨床運動器医学講座
Osteoporos Jpn, 19, 221-224	ロコモティブシンドロームの基礎疾患である腰椎椎体骨折、変形性腰椎症、変形性膝関節症と運動機能との関連。	阿久根徹、村木重之、岡敬之、川口浩、中村耕三、吉村典子	臨床運動器医学講座
Osteoporos Jpn, 19, 583-587	要介護予防からみた地域住民における加齢性筋肉減少症の実態と予防に関する研究: The ROAD Study.	阿久根徹、村木重之、岡敬之、川口浩、中村耕三、吉村典子	臨床運動器医学講座
運動器疾患の予防と治療 Advances in Aging and Health Research 2010, 21-25	高齢者運動器疾患の疫学と新たな疾患概念 腰痛・膝痛・骨折に関する大規模コホート追跡研究。	吉村典子、中村耕三、阿久根徹、藤原佐枝子、清水容子、吉田英世、大森豪、須藤啓広、西脇祐司、木田宗一、下木浩史	臨床運動器医学講座
Osteoporos Jpn, 19, 640-643	骨・関節のアンチエイジング(抗加齢)の食事と運動学 大規模コホートスタディによる骨関節疾患と食事および運動との関連。The ROAD study.	村木重之、阿久根徹、岡敬之、中村耕三、川口浩、吉村典子	臨床運動器医学講座
Osteoporosis Jpn	ビタミンD不足が要介護移行に及ぼす影響: The ROAD Study.	吉村典子、村木重之、岡敬之、川口浩、中村耕三、阿久根徹	臨床運動器医学講座
Osteoporosis Jpn	骨代謝マーカーによる骨粗鬆症発生の予測。	吉村典子、村木重之、岡敬之、川口浩、中村耕三、阿久根徹	臨床運動器医学講座
日本臨床, 69, 1323-1331	ロコモティブシンドローム。	中村耕三、吉村典子、阿久根徹、川口浩、石橋英明	臨床運動器医学講座
Hepatology	Novel function of Niemann-Pick C1-like 1 as a negative regulator of Niemann-Pick C2 protein.	高田龍平	薬剤部
Antimicrob Agents Chemother	Proposal of a pharmacokinetically optimized dosage regimen of antibiotics in patients receiving continuous hemodiafiltration.	山本武人	薬剤部
Mol Pharmacol	Off-target serine/threonine kinase 10 inhibition by erlotinib enhances lymphocytic activity leading to severe skin disorders.	山本奈央子	薬剤部
J Hepatol	Serum metabolomics reveals gamma-glutamyl dipeptides as biomarkers for discrimination among different forms of liver disease.	本間雅	薬剤部
Nucleosides Nucleotides Nucleic Acids	ABCG2 is a high-capacity urate transporter and its genetic impairment increases serum uric acid levels in humans.	池瀬祐樹	薬剤部

Nucleosides Nucleotides Nucleic Acids	Identification of ABCG2 dysfunction as a major factor contributing to gout.	高田龍平	薬剤部
Nucleosides Nucleotides Nucleic Acids	ABCG2/BCRP dysfunction as a major cause of gout.	高田龍平	薬剤部
Drug Metab Dispos	Analysis and prediction of drug transfer into human milk taking into consideration secretion and reuptake clearances across the mammary epithelia.	越道大樹	薬剤部
薬学雑誌	薬剤師の病棟勤務時間が長いほど薬剤が関連するインシデント発生数は少ない。国立大学病院における調査。	鈴木洋史	薬剤部
Gastroenterology	NPC2 regulates biliary cholesterol secretion via stimulation of ABCG5/G8-mediated cholesterol transport.	高田龍平	薬剤部
J Bone Miner Res	Rab27a and Rab27b are involved in stimulation-dependent RANKL release from secretory lysosomes in osteoblastic cells.	苅谷嘉顕	薬剤部
Clin Physiol Func Imaging (in press)	Hemostatic and inflammatory responses to blood flow restricted exercise in patients with ischemic heart diseases: a pilot study	Madarame H, Kurano M, Fukumura K, Fukuda T, Nakajima T	加圧トレーニング虚血循環生理学
Scandinavian Journal of Medicine and Science in Sports (in press)	Effects of low-intensity, elastic band resistance exercise combined with blood flow restriction on muscle activation.	Yasuda T, Fukumura K, Fukuda T, Iida H, Imuta H, Sato Y, Yamasoba T, Nakajima T.	加圧トレーニング虚血循環生理学
International Journal of Cardiology (in press)	Endothelial dysfunction following drug-eluting stent implantation. A systematic review of the literature.	Minami Y, Kaneda H, Inoue M, Ikutomi M, Morita T, Nakajima T	循環器内科
Comput Biol Med 2012; 42: 205-212.	Time frequency power profile of QRS complex obtained with wavelet transform in spontaneously hypertensive rats.	Takano NK, Tsutsumi T, Suzuki H, Okamoto Y, Nakajima T.	循環器内科
Brain Research 2012; 1429: 29-35.	Developmental changes in the expression of KV1 potassium channels in rat vestibular ganglion cells.	Iwasaki S, Nakajima T, Chihara Y, Inoue A, Fujimoto C, Yamasoba T.	耳鼻咽喉科
European Journal of Cardiovascular Prevention Rehabilitation (in press)	Cardiac rehabilitation decreases plasma pentraxin3 in patients with cardiovascular diseases.	Fukuda T, Kurano M, Iida H, Takano H, Yamamoto Y, Ikeda K, Nagasaki M, Monzen K, Ueda K, Kato M, Shimizu T.	加圧トレーニング虚血循環生理学
Anti-aging Medicine 2011; 8: 92-102.	Effects of exercise and anti-aging.	Nakajima T, Yasuda T, Sato Y, Morita T, Yamasoba T.	加圧トレーニング虚血循環生理学
Int J KAATSU Training Res 2011; 7:13-17.	A case of dementia presenting remarkably improvement in activities of daily living through KAATSU training.	Fukuda T, Fukumura K, Uchida Y, Ootsubuka T, Yasuda T, Iida H, Morita T, Nakajima T, Sato Y, Yamasoba T.	加圧トレーニング虚血循環生理学
Int J KAATSU Training Res 2011; 7:1-6.	Key considerations when conducting KAATSU training.	Nakajima T, Morita T, Sato Y.	加圧トレーニング虚血循環生理学
Clin Physiol Func Imaging 2011; 31: 472-476.	Effects of walking with blood flow restriction on limb venous compliance in elderly subjects.	Iida H, Nakajima T, Kurano M, Yasuda T, Sakamaki M, Sato Y, Abe T.	加圧トレーニング虚血循環生理学
Heart Rhythm 2011; 8:1509-1515.	High frequency powers hidden within QRS complex as an additional predictor of lethal ventricular arrhythmias to ventricular late potential in post-myocardial infarction patients.	Tsutsumi T, Takano N, Matsuyama N, Higashi Y, Iwasawa K, Nakajima T	加圧トレーニング虚血循環生理学
Int Heart J 2011; 52: 185-193.	Effects of serum amyloid A and lysophosphatidylcholine on intracellular calcium concentration in human coronary smooth muscle cells.	Tanaka T, Ikeda K, Yamamoto Y, Iida H, Kikuchi H, Morita T, Yamasoba T, Nagai R, Nakajima T.	循環器内科
Gazzetta Medica Italiana 2011; 170: 63-67.	Blood flow restricted exercise in a ballet dancer with Churg-Straus syndrome.	Madarame H, Takano H, Iida H, Hashida H, Morita T, Nakajima T.	加圧トレーニング虚血循環生理学
Angiology 2011; 62: 81-86.	Effects of 10-weeks walk training with leg blood flow reduction on carotid arterial compliance and muscle size in the elderly adults.	Ozaki H, Miyachi M, Nakajima T, Abe T.	加圧トレーニング虚血循環生理学
J Gerontol A Biol Sci Med Sci 2011; 66:257-263.	Increases in thigh muscle volume and strength by walk training with leg blood flow reduction in older participants.	Ozaki H, Sakamaki M, Yasuda T, Fujita S, Ogasawara R, Sugaya M, Nakajima T, Abe T.	加圧トレーニング虚血循環生理学

European Journal of Pharmacology	Eicosapentaenoic acid regulates Ix̄Ba and prevents tubulointerstitial injury in kidney	高瀬 教	Tissue Engineering部 先端腎臓・再生医学講座
Eur J Pharmacol	Eicosapentaenoic acid regulates IκappaBα and prevents tubulointerstitial injury in kidney.	Takase, O., Hishikawa, K., Kamiura, N., Nakakuki, M., Kawano, H., Mizuguchi, K., and Fujita, T	先端腎臓再生医学講座
Nat Med	Epigenetic modulation of the renal beta-adrenergic-WNK4 pathway in salt-sensitive hypertension.	16. Mu S, Shimosawa T, Ogura S, et al.	先端腎臓再生医学講座
J Biosci Bioeng	Evaluation of the implant type tissue-engineered cartilage by scanning acoustic microscopy	Hoshi K et al.	軟骨・骨再生医療寄付講座(富士ソフト)
Biomaterials	The development of a serum-free medium utilizing the interaction between growth factors and biomaterials	Hoshi K et al.	軟骨・骨再生医療寄付講座(富士ソフト)
Hum Mol Genet. 21:1111-23,2012	C/EBPβ and RUNX2 cooperate to degrade cartilage with MMP-13 as the target and HIF-2α as the inducer in chondrocytes.	Hirata M, et al.	整形外科、軟骨再生医療寄付講座
Arthritis Rheum. 64:198-203,2012	Lack of a chondroprotective effect of cyclooxygenase 2 inhibition in a surgically induced model of osteoarthritis in mice.	Fukai A, et al.	整形外科、軟骨再生医療寄付講座
Invest Ophthalmol Vis Sci	Induction of T regulatory cells by cytotoxic T-lymphocyte antigen-2α on corneal endothelial cells.	山上 聡	角膜移植部(TE部)
Invest Ophthalmol Vis Sc	Herpes simplex virus type 1-induced transcriptional networks of corneal endothelial cells indicate antigen presentation function.	山上 聡	角膜移植部(TE部)
Invest Ophthalmol Vis Sci	Roles played by toll-like receptor-9 in corneal endothelial cells after herpes simplex virus type 1 infection.	山上 聡	角膜移植部(TE部)
Invest Ophthalmol Vis Sci	Increased proliferation and replicative lifespan of isolated human corneal endothelial cells with L-ascorbic acid 2-phosphate.	山上 聡	角膜移植部(TE部)
Br J Ophthalmol	Inhibitory effect of corneal endothelial cells on IL-17-producing Th17 cells.	山上 聡	角膜移植部(TE部)
Cornea.	Pterygia and diabetes mellitus.	山上 聡	角膜移植部(TE部)
J Transl Med	Trehalose treatment suppresses inflammation, oxidative stress, and vasospasm induced by experimental subarachnoid hemorrhage.	鄭 雄一	医学系研究科(兼任)
J Vet Med Sci	Lyophilized Aspirin with Trehalose May Decrease the Incidence of Gastric Injuries in Healthy Dogs.	鄭 雄一	医学系研究科(兼任)
Acta Biomater	Development and evaluation of tetrapod-shaped granular artificial bones.	鄭 雄一	医学系研究科(兼任)

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。



## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 門脇 孝
管理担当者氏名	事務部長 竹田 幸博、総務課長 佐々木順三、管理課長 矢作 直之 経営戦略課長 佐々木義尚、医事課長 志茂 弘明、薬剤部長 鈴木 洋史 看護部長 小宮山智恵子、医療機器管理部長 玉井久義

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課 (病歴管理部) ※病院日誌については看護部 ※処方箋については薬剤部	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療記録は、1患者1ファイル方式での一括であるが、外来と入院は区分して保管している。</li> <li>エックス線写真は1患者1ファイル方式での管理である。</li> <li>エックス線写真は平成15年よりPACS (医用画像保存は配信システム) による。</li> <li>調剤処方箋の全数保管している。</li> </ul>
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	年度別にPC (場合によっては紙ファイル) で保管
	高度の医療の提供の実績	医事課	年度別にPCで保管
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科 総務課	年度別にPCで保管
	高度の医療の研修の実績	各診療科 総務課	年度別にPCで保管
	閲覧実績	総務課	年度別にPCで保管
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	年度別にPCで保管
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 (調剤については薬剤部)	年度別にPCで保管 年度別にPCで保管
第規一則号第一に掲げる十の体制第一の確保各号の状況及び第九条の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	総務課	年度別にPCで保管
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	総務課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	総務課	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	総務課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	総務課	年度別にPCで保管
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	庶務課 薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	総務課	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	庶務課 薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課 管理課 医事課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部	PCに保管
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部	PCおよび紙面にて保管
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部	PCおよび紙面にて保管

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	竹田 幸博
閲覧担当者氏名	佐々木 順三
閲覧の求めに応じる場所	院内会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	78.8 %	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	19,271人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	8,361人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	4,875人	
	D: 初診の患者の数	32,869人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>ア. 医療機関における安全管理に関する基本的な考え方 イ. 医療に係る安全管理のための委員会等安全管理に関する組織に関する基本的事項 ウ. 医療に係る安全管理のための職員研修等に関する基本的事項 エ. 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 オ. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 カ. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針 キ. 患者からの相談への対応に関する基本方針 ク. その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療安全研修強化 (2) 医療事故事例の迅速な報告 (3) 経口カリウム製剤の表記改善（服薬指示システム上の単位併記） (4) 転倒リスクの情報共有 (5) 研修医の注射指示に対する指導医確認の強化 (6) その他医療事故防止のための改善等、必要な事項の審議</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年7回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 東大病院における医療安全管理について (2) 食中毒リスクについて (3) 薬剤の配合変化について (4) ヒューマンエラーの防止について (5) 麻薬の取り扱いに関する注意事項／主要ME機器の取り扱い方法について (6) 褥瘡対策に関する講習会 (7) コードホワイトの実際について</p>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>当院のインシデントレポートシステムは、過誤の有無は関係なく、患者に与えた影響で提出を判断している。濃厚な処置や治療を要したものはオカレンスとしてインシデントと区別している。これらの報告により情報を共有し、組織のシステム改善を目指すことや、原因を分析し予防に生かす方策を策定している。</p> <p>この報告システムは自主的な報告を前提としており、病院職員からの報告を促すため、安全管理指針に「報告者、当事者の不利益になるような取扱いをしてはならない」ことを明記している。また、リスクマネージャー会議・研修等において、レポートの積極的な提出について周知・徹底をはかっている。</p> <p>レポートは、各部署のリスクマネージャーを通じて医療安全対策センターに提出されることとなっている。インシデントについては、各部署での対応策を記載することとなっている。</p> <p>提出されたレポートに基づいて、リスクマネジメント委員会の下に設置された分析小委員会及び医療安全対策センターにて、状況の確認、原因の分析、改善策の検討を行っている。</p>	

分析小委員及び会医療安全対策センターで検討された改善策は、リスクマネジメント委員会に報告の上、審議され、医療事故防止策として策定されている。

リスクマネジメント委員会からの医療事故防止策、分析小委員会・医療安全対策センターの分析結果並びに改善策は、リスクマネージャー会議あるいは医療安全対策センターを通じて病院職員全体に周知することにより、職員全員で共有している。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況  有 ( 3名) ・無

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況  有 ( 3名) ・無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況  有 無

- ・ 所属職員： 専任 ( 8) 名 兼任 ( 7) 名
- ・ 活動の主な内容：

- (1) 医療事故及びインシデントの収集・調査・分析・防止対策に関すること。
- (2) 医療事故及びインシデントの事例・対策等の情報収集に関すること。
- (3) 医療事故防止対策の周知徹底に関すること。
- (4) 医療事故防止に係る病院内の巡視・点検・評価に関すること。
- (5) 医療事故防止に係る業務の提言・指導に関すること。
- (6) 医療事故防止対策マニュアルに関すること。
- (7) リスクマネジメントに係わる教育・研修等の計画・立案・実施に関すること。
- (8) リスクマネジメントに係わる各種委員会に関すること。
- (9) 医療訴訟に関する事項
- (10) 医療上の紛争処理に関する事項
- (11) その他医療の安全管理に関すること。

⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況  有 無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>ア. 病院感染対策に関する基本的考え方 イ. 病院感染対策のための委員会等病院感染対策の組織に関する基本的事項 ウ. 病院感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 エ. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 オ. 病院感染発生時の対応に関する基本方針 カ. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 キ. その他病院感染対策推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 多剤耐性菌に対する対応 (2) 入院中の尿検査適正実施のための院内ガイドライン改定 (3) 教職員等の抗体検査の実施 (4) 手洗い実行調査 (5) 感染対策研修強化 (6) その他院内感染防止のための改善等必要な事項の審議</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年4回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 感染対策の基本—手指衛生、標準予防策 (2) カテーテル関連血流感染症 (3) VRE (バンコマイシン耐性腸球菌と感染対策について (4) ワンランク上の耐性菌対策を目指して</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>感染対策センターは、感染制御部及び感染制御部細菌検査室と協力し、感染症の発生状況を毎日確認している。確認した状況は、日報として病院長に報告するとともに、感染対策委員会において毎月報告している。</p> <p>院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策は以下のとおり。</p> <p>(1) 毎日病棟内多剤耐性菌検出と対応の確認、抗菌剤使用状況の確認と指導 (2) 毎週、ICTメンバーによる院内ラウンドの実施。 (3) 月1回ICTニュースを発行。 (4) 年3回以上の感染対策関連セミナーの開催。 (5) 毎月、リンクドクター連絡会議、コ・メディカル連絡会議を開催し、病院感染対策委員会の決定事項の報告、その他感染対策に関する情報の周知及びミニレクチャーの実施。</p>	

( (様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年1回
・ 研修の主な内容：麻薬の取り扱い時の留意点	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有) ・ 業務の主な内容：実施状況の確認を定期的に行う	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容：医薬品情報ニュースとして院内に電子媒体で配信している	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年140回
・ 研修の主な内容： 1) 人工呼吸器の使用 2) 体外循環装置の説明 3) 除細動器の使用 4) 輸液ポンプ・シリンジポンプの使用 5) 透析装置の説明	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有) ・ 保守点検の主な内容： 1) 人工呼吸器の定期点検 2) 除細動器の定期点検 3) 閉鎖式保育器の定期点検 4) 輸液ポンプ、シリンジポンプ、体外式ペースメーカーなどの各種医療機器の定期点検 5) 血液浄化装置の定期点検 6) 人工心肺装置および補助循環装置の定期点検 7) 医療機器返却時の清拭、終業点検 8) 人工呼吸器の始業点検、使用中点検 9) 購入機器の納入時点検	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1) 医療安全対策センター兼任スタッフとして臨床工学技士の配置 2) リスクマネージャー会議での医療機器に関する注意喚起 3) 院内広報誌の発行 (医療機器に関する情報の記載) 4) 院内HPへ院内広報誌の掲載と各種取扱説明書、添付文書の掲載 5) 呼吸療法サポートチームへの参加、勉強会の実施 6) 不具合情報の院内メールでの通知 7) 不具合情報の厚生労働省への報告	



